

2018

コースガイド

建築デザインコース

建築デザインコース

学習を始める前に

KYOTO UNIVERSITY OF ART & DESIGN

【動画】学習を始める前に

<https://bcove.video/2L3Fmzv>

建築デザインコース

履修条件図の見方 1

KYOTO UNIVERSITY OF ART & DESIGN

【動画】履修条件図の見方 1

<https://bcove.video/2Jvjisq>

建築デザインコース

履修条件図の見方 2

KYOTO UNIVERSITY OF ART & DESIGN

【動画】履修条件図の見方 2

<https://bcove.video/2FiL9cv>



学校法人 瓜生山学園

京都造形芸術大学 通信教育部

建築デザインコースでは、身のまわりの生活空間をベースに、環境や未来について、建築の設計やデザインを中心に学びます。日常的に触れることのできる家具や住まい、あるいは学校や図書館など様々なスケールのものを、それを取り巻く人の動きやエネルギーの流れといった多様な環境要素とのつながりを意識しながら考えます。

とはいえ、実際に原寸大の建物を建設して検証をしたり、数学や物理の公式のようなお決まりのパターンのようなものを学習するわけではありません。図面や模型、スケッチ、CGなどを用いて、設定される様々な条件のもとに自らの価値観を盛り込みながら具体的な提案を練り上げていくのです。

建築を通して豊かな生活環境の創造について考える。動くことのない建築が、ダイナミックで多様化する社会の中で、どのような新しい価値観や仕組みをもたらすことができるか、あるいはどのように新しい風景をかたちづくることができるか。ひとりひとりが未来に向けて提案をしていくことが目標です。

どんなに経験を積んでも、いつまでも夢中になって続けられる。
建築することの奥行きの深さと楽しさを建築デザインコースで肌で感じてください。

目次

1. [新入生のみなさんへ] 学習をはじめるにあたって	2
2. [在学生のみなさんへ] 2018年度からの変更事項と注意点	3
3. 学習を進めるにあたって	4
4. 専門教育科目一覧	5
5. 卒業制作着手・卒業要件	6
6. カリキュラムマップ	8
7. 履修条件図	10
8. スクーリング日程表	12
9. 履修モデル	14
10. 専門演習テキスト科目 (TW・TX)	18
11. 専門演習スクーリング科目 (S)	21
12. 学部共通専門教育科目 (TR)	25
13. 各種教材	26
14. パソコンとソフトウェア	27
15. 制作に必要な道具	30
16. 学習支援	32

コースガイドを使って履修計画をたてましょう

通信教育では通学制と異なり自分で履修計画をたて学習をすすめることが重要です。
入学許可後は、『学習ガイド』や『シラバス』を確認して履修計画をたてましょう。airUマイページでは履修プランを作成することができます。



本学通信教育課程では「履修登録」がありません。年度途中に新規科目に取り組むことも可能です。また、履修状況や学習環境の変化によって履修プランをたてなおし、学習をすすめていくことができます。

1. [新入生のみなさんへ] 学習をはじめるにあたって

皆さんご入学おめでとうございます。いよいよ大学生活がスタートしました。大学で建築を学ぶことを楽しみながらも、ひとつひとつの課題を取り組むごとにステップアップする自分が実感できるように過ごしてください。

1. airUマイページにアクセスする

建築デザインコースでは、テキスト科目、スクーリング科目ともに学習用 Web サイト「airU マイページ」を利用して学習に取り組みます。課題の提出や教材の閲覧はもちろん、通信教育課程で学習を進めるにあたっての各種手続き（スクーリングの申し込みや各種証明書の申し込み、学籍更新手続き）も airU マイページから行うことができます。

ログインアカウントとパスワードが届いたら、まずはアクセスしてみましょう。

airU マイページ <https://air-u.kyoto-art.ac.jp/>

airU キャンパス <https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/>

▶詳細は『学習ガイド』pp.15～16 参照。建築デザインコースサイトについては本書 p.32 参照。

2. ガイダンスに出席する

4、5 月に京都・東京で開催する「新入生ガイダンス」に出席し、履修方法や履修計画の立て方などについて説明を受けてください。ガイダンス出席は必須ではありませんが、今後、履修をスムーズにするためにできる限り出席してください。出席できない場合は airU マイページにある「ガイダンス映像教材」を視聴してください。

建築デザインコースでの学習のすすめ方を動画教材として提供しています。airU マイページ>カリキュラム一覧（シラバス）>環境デザイン概論【建築】>「事前課題」よりご覧ください。

3. 履修計画を立てる

まず「卒業要件」を確認してください。次に何年かけて卒業するのか考えてみましょう。それにより 1 年間で修得すべき単位数が自ずと決まってきます。本コースのテキスト科目とスクーリング科目は学習内容が関連付けられていますので、そのことも念頭におきながら卒業までの履修計画を作成することをお勧めします。作成にあたっては本書 pp.14～17「履修モデル」を参考にしてください。

4. 「環境デザイン概論【建築】（スターター）」を受講する

5 月に開講するスクーリング「環境デザイン概論【建築】（スターター）」は、専門演習テキスト科目に実際に取り組んだり、履修計画のチェックを行うガイダンス的な授業です。必修科目ではありませんが今後、自宅学習をスムーズに進めるためにも履修をお勧めします。

▶スクーリング日程は本書 pp.12～13 を、申込方法の詳細は『学習ガイド』p.54 ～を参照。

5. 卒業制作着手仮要件のクリアを目指す

卒業制作に着手するためには、各自定められている「卒業制作着手仮要件」「卒業制作着手本要件」を所定の期日までに満たしておかなければなりません。特に最短での卒業を目指している方は 1 年目から計画的に履修を進める必要があります。

▶詳細は本書 pp.6～7「卒業制作着手・卒業要件」を参照。

6. 質問方法

学習内容に関する質問は郵便、FAX、電子メール、airU 上の質問フォームで受け付けています。

『学習ガイド2018』p.100を参照のうえ問い合わせてください。自宅で課題に取り組んでいる際、疑問に感じたことは積極的に質問しましょう。また、教員に対面で相談できる「オープンゼミ（本書p.31参照）」も活用してください。なお、事務手続きに関する質問は電話でも受け付けていますが、電話による教員の学習相談は受け付けていません。

2. [在学生のみなさんへ] 2018年度からの変更事項と注意点

1. CADソフトウェアの変更

2年次のCAD系スクーリング（※）で使用するCADソフトウェアを「Vectorworks」から現在の「AutoCAD（オートキャド）」に変更しました。AutoCADも、2次元から3次元まで制作できる高い機能性がありプレゼンテーションまで一貫して行えますが、AutoCAD（学生版）は無料であることと、国内はもちろん世界的に広く普及していることが変更の理由です。

（※）CAD系のスクーリングとは、2年次配当科目の以下の2科目を指します。

- ・「環境デザイン [建築] IV-2（表現）」（2016年度までの「DDL II・表現」）
- ・「環境デザイン [建築] IV-3（CAD）」（2016年度までの「DDL II・ボリュームの構成」）

使用するソフトウェアは変更となりますが「環境デザイン [建築] IV-2（表現）、IV-3（CAD）」を2017年度までに単位修得済みの方は改めてスクーリングを受講する必要はありません。

また、上記2科目以外の課題制作で使用するソフトについては、これまで通りCADソフトウェアに指定はありません。「Vectorworks」を使い続けたい場合は、学生単年度版（税別¥20,000/年・2017年度実績）を購入することが可能です。これまでと同様に、テキスト課題におけるデータ提出はPDF形式ですので、使用するCADの違いは評価に影響しませんのでご安心ください。

- ▶ 「AutoCAD」「Vectorworks学生単年度版」の入手方法については本書pp.27～28「パソコンとソフトウェア」を参照。

2. 「環境デザイン演習 [建築] Ⅲ-1」

課題内容に大きな変更はありませんが制作条件に追加事項があります。シラバスを確認して必要事項を加味した提案にしてください。

3. 「卒業制作（ディプロマ）」、「環境デザイン演習Ⅳ」

より取り組みやすくするために、課題内容を変更しました。必ず最新のシラバスを確認して取り組んでください。

3. 学習を進めるにあたって

学習を進めるにあたっては、『学習ガイド』もあわせて参照してください。

1. 履修形態

▶『学習ガイド』pp.12～13参照

通信教育部における開講科目は、「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。
本学通信教育課程では、自宅学習や対面授業、レポートや作品など課題によって科目の形態が6種類あります。

テキスト科目	TR	テキストレポート科目	レポート課題と単位修得試験のある科目	自宅学習
	TW	テキスト作品科目	作品課題の科目	
	TX	テキスト特別科目	卒業関連科目、論文研究など特別な科目	
スクーリング科目	WS	ウェブスクーリング科目	Web上での動画学習とレポート試験がある科目	対面授業
	S	スクーリング科目	対面授業のある科目	
	GS	芸術学舎科目	本学が開講する公開講座芸術学舎を受講する科目	

2. 履修期間・課題提出期間

▶『学習ガイド』p.11、pp.32～65参照

それぞれ3ヶ月タームで履修の区切りがあります。課題提出期間は科目区分によって決まっています。

課題提出・単位修得試験 スケジュール		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR	テキストレポート科目	レポート 21～5/1	レポート 21～30	試験 1～8	レポート 21～30	レポート 21～30	試験 1～8	レポート 21～30	レポート 21～30	試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8
TW	テキスト作品科目	作品 11～20	作品 11～21		作品 11～20	作品 11～20		作品 11～20	作品 11～20		作品 11～21	作品 11～20	
TX	テキスト特別科目	課題の提出期間は科目により設定されます。											
WS	Webスクーリング科目		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20
S	スクーリング科目		夏期先行募集 17～25			秋期先行募集 17～25			冬期先行募集 17～26				2019年度 春期先行募集 3月下旬
		春期追加募集 12～(開講30～5 日前)		夏期追加募集 11～(開講30～5 日前)		秋期追加募集 10～(開講30～5 日前)			冬期追加募集 10～(開講30～5 日前)				
GS	芸術学舎科目		夏季申込 5月初旬～			秋季申込 8月初旬～			冬季申込 11月初旬～			2019年度 春季申込 2月中旬～	

- ・TR科目のレポート提出期間は年4回（4月、7月、10月、1月）ですが、2017年度にT科目からTR科目となった一部の科目については、履修形態・提出期間変更の移行処置として、2018年度までは5月、8月、11月も提出可能とします。レポート提出期間を年4回とする科目を「TR4」、7回とする科目を「TR7」と呼びます。各科目の提出期間は『シラバス』で確認してください。
- ・対面の単位修得試験は単位修得試験期間の土日で開催します。今年度の試験実施日と受験申込期間は『学習ガイド』p.42を参照してください。

卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。

3. 課題提出方法

▶『学習ガイド』pp.33～36参照

課題提出形態は「airU」「郵送」「窓口」の3種類です。科目により「airU」のみで受け付けるもの、「郵送」または「窓口」のみで受け付けるものもあります。それぞれの締切日の到着は、「airU」は13時までにサーバーに着信済、「郵送」は本学に必着、「窓口」は京都・瓜生山キャンパス通信教育部事務局窓口にて17時までに受付済、と定められています。

4. 単位修得試験

▶『学習ガイド』pp.40～45参照

テキストレポート科目（TR）では、レポート合格後に単位修得試験が受験可能です。単位修得試験はWeb（airUマイページ）と会場（京都・東京）で受験できます。なお、レポート課題提出形態によって、受験方法が異なり、airUマイページでレポートを提出した場合はWeb受験、郵送・窓口でレポートを提出した場合はWebまたは会場どちらかで受験します。

5. スクーリングの申し込み方法・キャンセル

▶『学習ガイド』pp.49～57参照

スクーリング科目（S）の申し込みは3ヶ月ごとに募集を行います。申込スケジュールを確認し、期日内にairUマイページまたは郵送・窓口より手続きしてください。また、受講許可が出た後はキャンセル時期により10～100%のキャンセル料が発生します。

6. 芸術学舎科目

▶『学習ガイド』p.65参照

年4回3ヶ月ごとの季に分けて開講している一般公開講座です。講座を受講することで通信教育部で有効な単位の修得が可能です。詳細は、芸術学舎Webサイト、パンフレットを参照してください。芸術学舎の単位認定に関しては『学習ガイド』pp.70～72を確認してください。

4. 專門教育科目一覽

卒業要件等に関しては、まず本書 pp.6～7 を読むこと。

編入学生の卒業要件は「入学許可証・卒業要件通知」で必ず確認してください。

〈凡例〉 TR4: テキストレポート科目 (年4回提出) TR7: テキストレポート科目 (年7回提出) TW: テキスト作品科目
TX: テキスト特別科目 S: スクーリング科目 ●: 必修科目、○: いずれか選択必修

		科目一覧				卒業要件		配当年次 (注 1)
科目群	科目 区分	科目コード	科目名	単位数	ST	1 年次入学 124 単位以上 (S 科目 30 単位以上)	3 年次編入学 72 単位以上 (注 2)	
総合教育科目		18005	情報	2	TR4	● (注 3)	● (注 3)	1 年次～
		閉 講	情報基礎 (パソコン入門) (注 3)	2	T			
						2 単位以上	2 単位以上	
専門教育科目	学部共通専門教育科目	40645	都市概論	2	TR7	●	●	1 年次～
		40646	住宅概論	2	TR7	●	●	
		40647	建築史 1 (近代)	2	TR7	●	●	
		40648	建築史 2 (西洋)	2	TR7	○	○	
		40649	建築史 3 (日本)	2	TR7	○	○	
		40650	建築環境工学	2	TR7	●	●	
		40651	建築設備	2	TR7	●	●	
		40652	建築材料	2	TR7	●	●	
		40653	建築生産	2	TR7	●	●	
		40654	建築法規	2	TR7	●	●	
		40655	構造力学 1	2	TR7	●	●	
		40656	構造力学 2	2	TR7	●	●	
					22 単位以上	22 単位以上		
	コース専門演習 T 科目	72601	デザイン基礎 1 (建築)	2	TW	●	●	1 年次～
		72602	デザイン基礎 2 (建築)	2	TW	●	●	
		72605	環境デザイン演習 [建築] I－1	2	TW	●	●	
		72606	環境デザイン演習 [建築] I－2	2	TW	●	●	
		72603	環境デザイン基礎 1 (建築)	2	TW	●	●	2 年次～
		72604	環境デザイン基礎 2 (建築)	2	TW	●	●	
		72607	環境デザイン演習 [建築] II－1	2	TW	●	●	
		72608	環境デザイン演習 [建築] II－2	2	TW	●	●	
		72609	環境デザイン演習 [建築] III－1	2	TW	●	●	3 年次～
		72610	環境デザイン演習 [建築] III－2	2	TW	●	●	
		72611	環境デザイン演習 [建築] IV	4	TX	●	●	4 年次
						24 単位	24 単位	
	コース専門演習 S 科目	72033	環境デザイン概論 [建築]	1	S	(注 4)	(注 4)	1 年次～
		72061	環境デザイン [建築] I－1	1	S	●	●	
		72062	環境デザイン [建築] I－2	1	S	●	●	
		72063	環境デザイン [建築] I－3	1	S	●	●	
		72064	環境デザイン [建築] II－1	1	S	●	●	
		72065	環境デザイン [建築] II－2	1	S	●	●	
		72066	環境デザイン [建築] II－3	1	S	●	●	
		72067	環境デザイン [建築] III－1	1	S	●	●	
		72068	環境デザイン [建築] III－2	1	S	●	●	2 年次～
		72069	環境デザイン [建築] III－3	1	S	●	●	
		72070	環境デザイン [建築] IV－1	1	S	●	●	
72071		環境デザイン [建築] IV－2	1	S	●	●		
72072		環境デザイン [建築] IV－3	1	S	●	●		
72073		環境デザイン [建築] V－1	1	S	●	●		
72074		環境デザイン [建築] V－2	1	S	●	●	3 年次～	
72075		環境デザイン [建築] V－3	1	S	●	●		
72076		環境デザイン [建築] V－4	1	S	●	●		
72077		環境デザイン [建築] V－5	1	S	●	●		
72078	環境デザイン [建築] V－6	1	S	●	●			
72091	卒業制作 (建築デザイン)	6	S	●	●			
				24 単位以上	24 単位以上	4 年次		
その他		総合教育科目、学部共通専門教育科目、資格関連科目などから自由に選択						
総合計						124 単位以上	72 単位以上	

(注1) 配当年次：履修のための前提条件であり、その年次に到達しないと履修はできません。さらに、科目に別途、履修条件がある場合は、その条件を満たす必要があります。

(注2) 2016年度以前の2年次編入学生(卒業要件が84単位以上)の必修科目は「3年次編入学」の欄を参照ください。

(注3)「情報」または「情報基礎(パソコン入門)」が必修。「情報基礎(パソコン入門)」は2016年度までで開講。2016年度までに「情報基礎(パソコン入門)」で単修修得済みでも可。

(注4) コース専門演習科目の進め方・履修計画について解説を行うガイダンス的なスクーリング授業です。必修科目ではありませんが、入学後、まず受講されることをお勧めします。

資格の取得

建築デザインコースでは卒業要件を満たすことで、二級建築士・木造建築士の受験資格と、卒業後 2 年間の実務経験を経て一級建築士の受験資格を取得することができます。詳細は『学習ガイド』pp.144～145 を参照。

5. 卒業制作着手・卒業要件

建築デザインコースでは「卒業制作着手仮要件」「卒業制作着手本要件」により卒業制作着手の判定を行います。卒業制作に取り組む前年度までに「卒業制作着手仮要件」を満たせば「卒業制作1、2」のスクーリングを受講することができます。そのうえで、「卒業制作3～6」スクーリング申込までに「卒業制作着手本要件」を満たせば「卒業制作3～6」を受講することができます。

2018年度に卒業制作に着手するためには以下の2つの条件を満たしておく必要があります。

- ① 2017年度末までに「卒業制作着手仮要件」を満たし、「卒業制作着手」の許可を受けていること。
- ② 「卒業制作3～6」スクーリング申込までに「卒業制作着手本要件」を満たすこと。

2019年度に卒業制作に着手するためには以下の2つの条件を満たしておく必要があります。

- ① 2018年度末までに「卒業制作着手仮要件」を満たすこと。
 - ② 2019年度の「卒業制作3～6」スクーリング申込までに「卒業制作着手本要件」を満たすこと。
- ※ 2018年度末までに、「卒業制作着手仮要件」「卒業制作着手本要件（「卒業制作1、2」を除く）」を満たしておけば、2019年度は卒業制作に集中して取り組むことができますので、早いうちに要件を満たすようにしてください。

卒業制作着手仮要件

入学区分（卒業要件） （注3）	科目群	修得すべき 単位数	備考（左記のうち、修得すべき科目など）
1年次入学 （124単位以上）	学部共通専門教育科目	12単位以上	必修22単位から選択（注2）
	コース専門演習T科目	16単位以上	「デザイン基礎1・2(建築)」 「環境デザイン演習 [建築]Ⅰ・Ⅱ」 「環境デザイン基礎1・2(建築)」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「環境デザイン [建築]Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	（注1）	
	合計	80単位以上 ^(※)	3年以上在学していること（休学期間を除く）
3年次編入学 （72単位以上）	学部共通専門教育科目	12単位以上	必修22単位から選択（注2）
	コース専門演習T科目	16単位以上	「デザイン基礎1・2(建築)」 「環境デザイン演習 [建築]Ⅰ・Ⅱ」 「環境デザイン基礎1・2(建築)」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「環境デザイン [建築]Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他		
	合計	40単位以上	1年以上在学していること（休学期間を除く）

（※）2019年度より卒業制作着手仮要件は90単位以上に変更になります。休学し、2020年度以降に卒業制作着手を予定されている方は、休学前に要件を満たすようにしてください。

卒業制作着手本要件

入学区分（卒業要件）	科目群	修得すべき 単位数	備考（左記のうち、修得すべき科目など）
1年次入学（124単位以上） 3年次編入学（72単位以上）	コース専門演習T科目	4単位	「環境デザイン演習 [建築]Ⅲ-1、Ⅲ-2」を合格済み
	コース専門演習S科目	6単位	「環境デザイン [建築]Ⅴ-1～6」を合格済み
		—	「卒業制作1・2」を合格済み

●「卒制制作3～6」スクーリング申込条件

スクーリング 開催回	申込時期 (郵送は必着、Webは13:00まで)		テキスト課題の合格期日	スクーリングの合格期日	その他
			環境デザイン演習 [建築] III-1、 環境デザイン演習 [建築] III-2	環境デザイン [建築] V-1～6	卒業制作1、2
秋期 (10～12月開講)	先行	8/17～25	7月度(7/20【必着】)までに 提出の課題が合格済み	7月末までに合格済み	受講許可
	追加	9/10～10/6(※)	8月度(8/20【必着】)までに 提出の課題が合格済み	9月末までに合格済み (※)	

- ・卒業制作スクーリングは年に2回の申し込みとなります。春期(4～6月開講)の申込時期に「卒業制作1、2」スクーリングを2つ、秋期(10～12月開講)の申込時期に「卒業制作3～6」スクーリングを4つそれぞれセットで申し込んでください。
- ・卒業制作スクーリングでは原則として定員を設けません。必ず追加募集を行います。
- (※)9月のスクーリングで条件を満たす場合は9/29 13:00～申し込み可能となります。

●卒業制作の単位認定と「環境デザイン演習 [建築] IV」の提出期間

- ・卒業制作はテキスト科目「環境デザイン演習 [建築] IV」(4単位)とスクーリング科目「卒業制作」(6単位)を一括認定します。したがって、課題の1つあるいはスクーリングの1つでも履修し、合格しなければどちらの科目も単位認定できません。
- ・「環境デザイン演習 [建築] IV」第1課題の提出期間は(10/11～20【必着】)、第2課題の提出期間は(2/1～7【必着】)です。提出期間に留意して計画的に学習をすすめてください。

●2018年度卒業予定者の冬期(1～3月)履修は卒業制作のみです

2018年度卒業予定の方は卒業関連科目(「卒業制作」「環境デザイン演習 [建築] IV」)以外の科目を冬期(1～3月)に履修することはできません。秋期(10～12月)までに卒業関連科目以外の科目の履修を完了するように計画的に学習をすすめてください。特にTR科目は12月の単位修得試験を受験するためには、10月度にレポート提出し、合格する必要があります。

卒業要件

入学区分(卒業要件) (注3)	科目群	修得すべき単位数	備考(左記のうち、修得すべき科目など)
1年次入学 (124単位以上)	総合教育科目	指定なし	「情報」または「情報基礎(パソコン入門)」(注4) 必修
	学部共通専門教育科目	22単位以上	(注2)
	コース専門演習T科目	24単位	すべての科目が必修
	コース専門演習S科目	24単位以上	「環境デザイン[建築] I・II・III・IV・V」、「卒業制作」必修
	その他	(注1)	
	合計	124単位以上	S科目30単位以上
3年次編入学 (72単位以上)	総合教育科目	指定なし	「情報」または「情報基礎(パソコン入門)」(注4) 必修
	学部共通専門教育科目	22単位以上	(注2)
	コース専門演習T科目	24単位	すべての科目が必修
	コース専門演習S科目	24単位以上	「環境デザイン[建築] I・II・III・IV・V」、「卒業制作」必修
	その他		
	合計	72単位以上	

編入学生の卒業要件については、お手元の「入学許可証・卒業要件通知」を確認してください。

- (注1) 「その他」については、総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門演習S科目・T科目(編入学生で必修以外の科目がある場合)、資格関連科目などから自由に選択し合計単位数を満たすこと。
- (注2) 卒業要件では「住宅概論」「都市概論」「建築史1(近代)」「建築史2(西洋)または建築史3(日本)」「建築環境工学」「建築材料」「建築設備」「建築生産」「建築法規」「構造力学1」「構造力学2」の11科目(22単位)が必修。卒業制作着手仮要件ではこれら11科目から6科目(12単位)が必修。
- (注3) 2年次編入学(卒業要件84単位以上)の卒業要件および卒業制作着手仮要件は、3年次編入学(卒業要件72単位以上)に同じ。ただし、卒業要件では合計単位数が84単位以上あること、3年以上在学していること(休学期間を除く)。卒業制作着手仮要件では合計単位数が50単位以上、2年以上在学していること(休学期間を除く)。
- (注4) 「情報基礎(パソコン入門)」は2016年度まで開講。2016年度までに「情報基礎(パソコン入門)」で単位修得済みでも可。

6. カリキュラムマップ カリキュラムの内容と関連性

卒業までに身に付けるべき知識・能力を得るための科目が、どのように配置されているのか、各科目の関係性や配当年次などを示した、カリキュラムの体系的な俯瞰図です。履修計画の参考にしてください。

1 年次 名建築を題材に製図・模型の基本的な技術を学び美しく空間を表現する技術を身につける

空間の実践	複合プログラム 周辺環境の特性や不特定多数の利用者の視点に立った魅力ある公共空間を設計する。	
	リサーチ・スタディ 都市における様々な要素や人々のアクティビティについて観察し場所の特性を分析。その場に必要と建築を考える。	
空間の発見	設計手法 - 風景・環境 建築と周辺環境との関わり合いについて理解を深め、環境に対してどのように建築を考えたら良いのかを学ぶ。	
	設計手法 - 構造・構法 構造や設備に目を向けデザインを成立させる実質的な建築のしくみを学ぶ。	
	設計手法 - 立体構成 平面的な思考ではなく3次元空間として建築を考える力を身につける。	S 環境デザイン [建築] II-1 必 空間表現 1 「言葉と空間」
	設計手法 - 平面構成 平面的に必要な諸機能を満たす建築空間を設計する力を身につける。	S 環境デザイン [建築] II-3 必 空間表現 2 「コートハウス」
	設計手法 - スケール 設計の基本的な寸法感覚を身につける。	
魅力の発見	立体表現 構想する3次元空間を縮尺のある模型やCADによるコンピュータモデルとして表現する力を身につける。	TW デザイン基礎 2(建築) 必 立体構成と模型 「巨匠模型」 S 環境デザイン [建築] I-3 必 立体表現 「模型基礎」
	平面表現 構想する 3 次元空間をスケッチや図面といった 2 次元の平面表現に変換する力を身につける。	TW デザイン基礎 1(建築) 必 作図基礎 「ドリル教材に学ぶ」 S 環境デザイン [建築] I-2 必 ドローイング 「次元変換の試み」 TW 環境デザイン演習 [建築] I-2 必 トレース 「名建築に倣う 1」 S 環境デザイン [建築] II-2 必 平面表現 「美しいドローイング」
知識の習得	名建築・建築史 古今東西の名建築を知り、その建築空間の魅力を読み解く。時代背景や建築を取り巻く人、社会環境にも興味を広げ建築の興味を深める。	TR 建築史 1(近代) 必 TR 建築史 2(西洋) または 必 建築史 3(日本) TW 環境デザイン演習 [建築] I-1 必 空間特性と表現 「名建築を語る」 S 環境デザイン [建築] I-1 必 フィールドワーク 「空間と環境」
	構造・工法 建築を具現化するために必要な構造や材料について合理的かつ審美的に計画する力を身につける。	TR 構造力学 1 必 TR 住宅概論 必
	環境・設備 建築と環境の関係や建築を快適にするための設備に関する知識を身につける。	
	法規・生産 建築を規定する法規や建設するために必要なコスト管理や施工計画・管理に関する知識を身につける。	

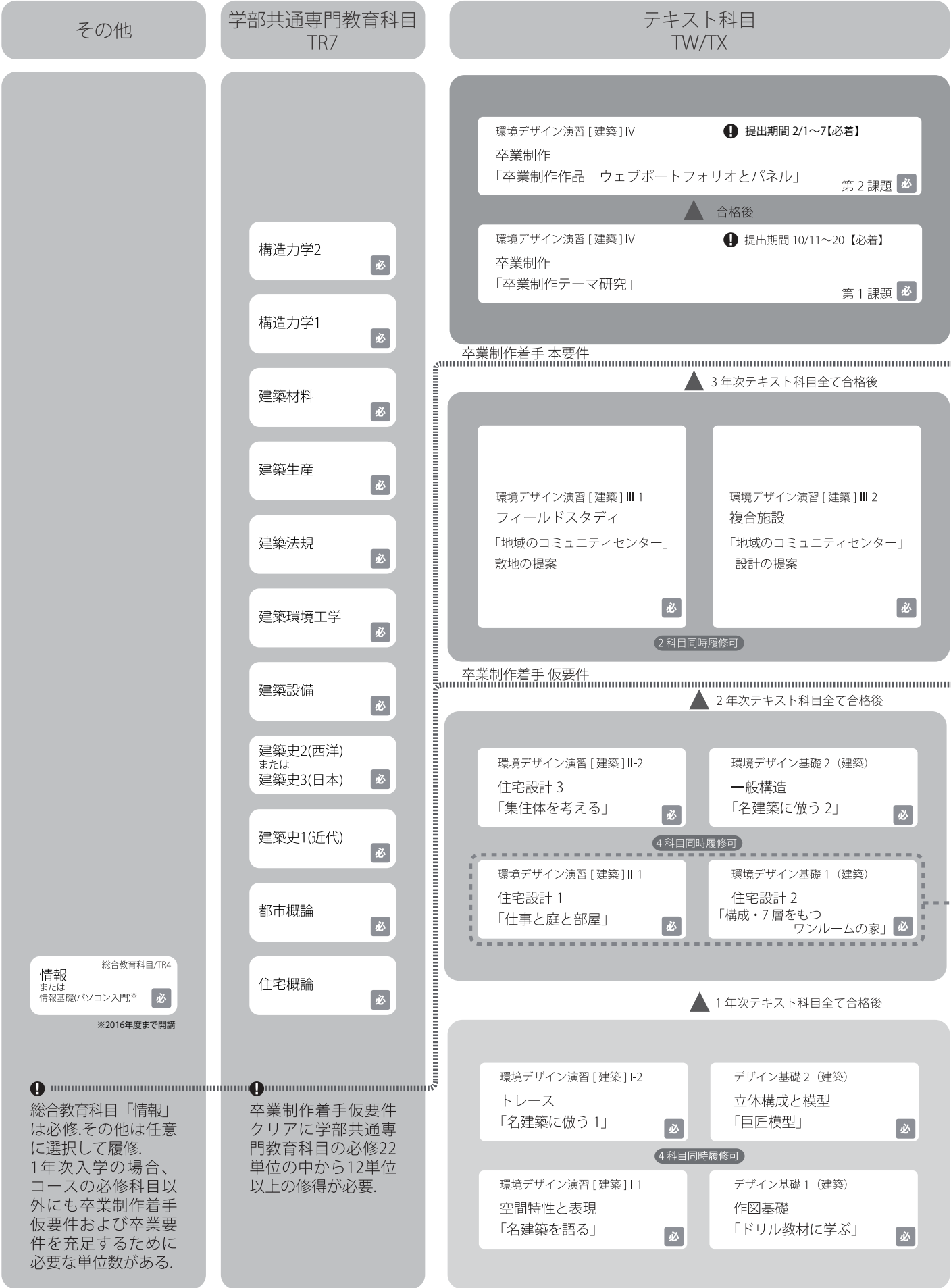
2年次 小規模空間の設計。空間をつくる手法を
学び、魅力的な空間を発見し表現する。

3年次 中規模公共空間の設計。環境を読み取り
設計するプロセスを通して実践力を養う。

4年次 卒業制作。現代社会で必要とされる
建築を自ら提案し、公共建築を設計する。

	TW 環境デザイン演習 [建築] III-2 必 複合施設「地域のコミュニティセンター」設計の提案 S 環境デザイン [建築] V-4 必 風景と構成「バサージュのある図書館」	TX 環境デザイン演習 [建築] IV 必 卒業制作 S 卒業制作 1～6 必 卒業制作
	TW 環境デザイン演習 [建築] III-1 必 フィールドスタディ「地域のコミュニティセンター」設計の提案 S 環境デザイン [建築] V-3 必 場のかたち「図書館」	
S 環境デザイン [建築] III-2 必 環境 1「環境をかたちにする _ 住宅編」 TW 環境デザイン基礎 2 (建築) 必 一般構造「名建築に倣う 2」 S 環境デザイン [建築] IV-1 必 住宅架構「住宅架構のスタディ」 S 環境デザイン [建築] III-3 必 集住「ドミトリー」 TW 環境デザイン基礎 1(建築) 必 住宅設計 2「構成・7 層をもつワンルームの家」 TW 環境デザイン演習 [建築] III-2 必 住宅設計 3「集住体を考える」 TW 環境デザイン演習 [建築] II-1 必 住宅設計 1「仕事と庭と部屋」 S 環境デザイン [建築] III-1 必 寸法 1「スケールスタディ」	S 環境デザイン [建築] V-1 必 風景「祈りの空間」 S 環境デザイン [建築] V-2 必 環境 2「環境をかたちにする _ 公共編」 S 環境デザイン [建築] V-6 必 架構「大きな屋根のある小さな町の駅」 S 環境デザイン [建築] V-5 必 寸法 2「となりの美術館」	
S 環境デザイン [建築] IV-3 必 CAD「CAD 基礎」 S 環境デザイン [建築] IV-2 必 表現「CAD プレゼンテーション」		
TR 構造力学 2 必 TR 建築材料 必 TR 建築環境工学 必	TR 都市概論 必 TR 建築設備 必 TR 建築法規 必	TR 建築生産 必

7. 履修条件図



スクーリング科目 S

必 必修科目 選 選択科目

テーマや敷地、プログラムなどの諸条件を設定し、幾重ものスタディを通してアイデアを定着させて社会に向けて発信できる作品にまとめあげます。

4年次

卒業制作 3
ディプロマ (展開 2) 「ゼミ・スタジオ 2」 必

卒業制作 6
ディプロマ (発表)
「ファイナル・プレゼンテーション」 必

卒業制作着手本要件クリア

卒業制作 2
ディプロマ (展開 1) 「ゼミ・スタジオ 1」 必

卒業制作 5
ディプロマ (表現)
「プレゼンテーション・スタジオ」 必

卒業制作 1
ディプロマ (計画) 「デザイン・スタジオ」 必

卒業制作 4
ディプロマ (展開 3) 「ゼミ・スタジオ 3」 必

卒業制作 着手本要件

▲ 3年次スクーリング・卒業制作 1、2 全て合格後

環境デザイン [建築] V-3
場のかたち 「図書館」 必

環境デザイン [建築] V-6
架構 「大きな屋根のある小さな町の駅」 必

環境デザイン [建築] V-2
環境 2 「環境をかたちにする_公共編」 必

環境デザイン [建築] V-5
寸法 2 「となりの美術館」 必

環境デザイン [建築] V-1
風景 「祈りの空間」 必

環境デザイン [建築] V-4
風景と構成 「パサージュのある図書館」 必

3年次スクーリング申込みまでに「環境デザイン基礎 1 (建築)」「環境デザイン演習 [建築] II-1」の両方を合格済みのこと

卒業制作 着手本要件

▲ 2年次スクーリング 全て合格後

環境デザイン [建築] III-3
集住 「ドミトリー」 必

環境デザイン [建築] IV-3
CAD 「CAD基礎」 必

環境デザイン [建築] III-2
環境 1 「環境をかたちにする_住宅編」 必

環境デザイン [建築] IV-2
表現 「CAD プレゼンテーション」 必

環境デザイン [建築] III-1
寸法 1 「スケールスタディ」 必

環境デザイン [建築] IV-1
住宅架構 「住宅架構のスタディ」 必

1年次で得た基礎知識と技術をもとに小規模空間の設計に取り組みます。空間をつくる手法について学び考え魅力的な空間を発見し表現します。

2年次

環境デザイン [建築] II-3
立体表現 「模型基礎」 必

環境デザイン [建築] II-3
空間表現 2 「コートハウス」 必

環境デザイン [建築] II-2
ドローイング 「次元変換の試み」 必

環境デザイン [建築] II-2
平面表現 「美しいドローイング」 必

環境デザイン [建築] II-1
フィールドワーク 「空間と環境」 必

環境デザイン [建築] II-1
空間表現 1 「言葉と空間」 必

環境デザイン [建築]
スターター 「見てみよう、調べてみよう、描いてみよう」 選

名建築を題材に製図・模型の基本的な技術を繰り返し学びます。建築の魅力について学び考え美しく表現するための技術を身につけます。

1年次

8. スクーリング日程表

申込期間	日程	【選択科目】環境デザイン概論 [建築] 環境デザイン [建築] I-1 ～ II-3		環境デザイン [建築] III-1 ～ IV-3	
		1 年次配当		2 年次配当	
		京都	東京	京都	東京

<div> <div>春期</div> <div>(4 ～ 6 月)</div> <div>3/26～3/31</div> </div>	4/21(土)～4/22(日)			環境デザイン [建築] III-1 211K 寸法 1	
	4/28(土)～4/29(日)				環境デザイン [建築] III-1 212T 寸法 1
	5/19(土)～5/20(日)	【選択科目】 環境デザイン概論 [建築] 001K スターター	【選択科目】 環境デザイン概論 [建築] 002T スターター		環境デザイン [建築] III-2 221T 環境 1
	5/26(土)～5/27(日)			環境デザイン [建築] III-2 222K 環境 1	
	6/2(土)～6/3(日)	環境デザイン [建築] II-2 151K 平面表現	環境デザイン [建築] I-3 131T 立体表現		環境デザイン [建築] III-3 231T 集住
	6/9(土)～6/10(日)	環境デザイン [建築] I-3 132K 立体表現	環境デザイン [建築] II-2 152T 平面表現		
	6/23(土)～6/24(日)	環境デザイン [建築] II-2 153K 平面表現	環境デザイン [建築] I-3 133T 立体表現		
	6/30(土)～7/1(日)	環境デザイン [建築] I-3 134K 立体表現	環境デザイン [建築] II-2 154T 平面表現		

<div> <div>夏期</div> <div>(7 ～ 9 月)</div> <div>5/17～5/25</div> </div>	7/7(土)～7/8(日)	環境デザイン [建築] I-2 121K ドローイング	環境デザイン [建築] II-3 161T 空間表現 2	環境デザイン [建築] III-3 232K 集住	
	7/21(土)～7/22(日)	環境デザイン [建築] II-3 162K 空間表現 2	環境デザイン [建築] I-2 122T ドローイング		
	7/28(土)～7/29(日)	環境デザイン [建築] I-2 123K ドローイング	環境デザイン [建築] II-3 163T 空間表現 2	環境デザイン [建築] IV-3 261K CAD	環境デザイン [建築] IV-1 241T 住宅架構
	8/4(土)～8/5(日)				
	8/18(土)～8/19(日)	環境デザイン [建築] II-3 164K 空間表現 2		環境デザイン [建築] IV-2 251K 表現	
	8/25(土)～8/26(日)	環境デザイン [建築] II-1 141K 空間表現 1	環境デザイン [建築] I-2 124T ドローイング		環境デザイン [建築] IV-3 262T CAD
	9/1(土)～9/2(日)		環境デザイン [建築] II-1 142T 空間表現 1		
	9/8(土)～9/9(日)	環境デザイン [建築] I-1 111K フィールドワーク	環境デザイン [建築] I-1 112T フィールドワーク	環境デザイン [建築] IV-1 242K 住宅架構	環境デザイン [建築] IV-2 252T 表現
	9/22(土)～9/23(日)	環境デザイン [建築] II-1 143K 空間表現 1	環境デザイン [建築] II-1 144T 空間表現 1		
	9/29(土)～9/30(日)	環境デザイン [建築] II-1 113K フィールドワーク	環境デザイン [建築] I-1 114T フィールドワーク	環境デザイン [建築] III-1 213K 寸法 1	

<div> <div>秋期</div> <div>(10 ～ 12 月)</div> <div>8/17～8/25</div> </div>	10/13(土)～10/14(日)	環境デザイン [建築] I-3 135K 立体表現	環境デザイン [建築] I-1 115T フィールドワーク	環境デザイン [建築] III-1 214K 寸法 1	環境デザイン [建築] III-1 215T 寸法 1
	10/20(土)～10/21(日)			環境デザイン [建築] IV-3 263K CAD	環境デザイン [建築] III-2 223T 環境 1
	10/27(土)～10/28(日)	環境デザイン [建築] II-2 155K 平面表現			
	11/3(土祝)～11/4(日)			環境デザイン [建築] III-2 224K 環境 1	環境デザイン [建築] IV-3 264T CAD
	11/10(土)～11/11(日)	環境デザイン [建築] I-1 116K フィールドワーク		環境デザイン [建築] IV-3 265K CAD	
	11/17(土)～11/18(日)		環境デザイン [建築] II-2 156T 平面表現		環境デザイン [建築] IV-3 266T CAD
	11/24(土)～11/25(日)			環境デザイン [建築] III-2 225K 環境 1	環境デザイン [建築] IV-2 253T 表現
	12/1(土)～12/2(日)		環境デザイン [建築] I-3 136T 立体表現	環境デザイン [建築] III-3 233K 集住	環境デザイン [建築] III-2 226T 環境 1
	12/8(土)～12/9(日)				環境デザイン [建築] III-1 216T 寸法 1
	12/15(土)～12/16(日)		環境デザイン [建築] II-3 165T 空間表現 2	環境デザイン [建築] III-3 234K 集住	環境デザイン [建築] IV-2 254T 表現
	12/22(土)～12/23(日)	環境デザイン [建築] I-2 125K ドローイング			

<div> <div>冬期</div> <div>(1 ～ 3 月)</div> <div>11/17～11/26</div> </div>	1/12(土)～1/13(日)		環境デザイン [建築] I-2 126T ドローイング	環境デザイン [建築] IV-1 243K 住宅架構	環境デザイン [建築] IV-1 244T 住宅架構
	1/19(土)～1/20(日)	環境デザイン [建築] II-1 145K 空間表現 1		環境デザイン [建築] IV-2 255K 表現	
	1/26(土)～1/27(日)				環境デザイン [建築] III-3 235T 集住
	2/2(土)～2/3(日)		環境デザイン [建築] II-1 146T 空間表現 1	環境デザイン [建築] IV-2 256K 表現	
	2/16(土)～2/17(日)				環境デザイン [建築] III-3 236T 集住
	2/23(土)～2/24(日)	環境デザイン [建築] II-3 166K 空間表現 2		環境デザイン [建築] IV-1 245K 住宅架構	

NO について

216T

①

②

③

④

① 【年次／難易度】「選択科目」=0「1 年次」= 1「2 年次」= 2「3 年次」= 3「4 年次」= 4

② 各カテゴリを示す

③ カテゴリごとの開講順

④ 【開催地】京都（大阪）= K 東京 = T 金沢 = KT

- ・各申込スケジュールは『学習ガイド2018』p.53をご確認ください。
- ・airU申込みは申込締切日13:00まで。郵送申込は申込締切日【必着】まで。
- ・追加募集申込のスケジュールと空き状況は、airUマイページで確認してください。
- ・スクーリングコード一覧はairUマイページ>お知らせ欄で確認できます。

環境デザイン [建築] V-1 ～ 6		卒業制作		日程	申込期間
3 年次配当		4 年次配当			
京都	東京	京都	東京		

環境デザイン [建築] V-3 331K 場のかたち				4/21(土)～4/22(日)	春期 (4～6月) 3/26～3/31
	環境デザイン [建築] V-3 332T 場のかたち			4/28(土)～4/29(日)	
	環境デザイン [建築] V-6 361T 架構	「卒業制作1,2」のスクーリング先行申込は 3月29日(木)13:00～31日(土)13:00の3日間です。		5/19(土)～5/20(日)	
環境デザイン [建築] V-4 341K 風景と構成				5/26(土)～5/27(日)	
	環境デザイン [建築] V-2 321T 環境 2			6/2(土)～6/3(日)	
環境デザイン [建築] V-2 322K 環境 2				6/9(土)～6/10(日)	
		卒業制作 1 411K ディプロマ (計画) ※ 1		6/23(土)～6/24(日)	
環境デザイン [建築] V-1 311K 風景			卒業制作 1 412T ディプロマ (計画) ※ 1	6/30(土)～7/1(日)	

	環境デザイン [建築] V-4 342T 風景と構成			7/7(土)～7/8(日)	夏期 (7～9月) 5/17～5/25
環境デザイン [建築] V-6 362K 架構				7/21(土)～7/22(日)	
				7/28(土)～7/29(日)	
	環境デザイン [建築] V-1 312T 風景			8/4(土)～8/5(日)	
				8/18(土)～8/19(日)	
環境デザイン [建築] V-5 351K 寸法 2				8/25(土)～8/26(日)	
	環境デザイン [建築] V-5 352T 寸法 2			9/1(土)～9/2(日)	
				9/8(土)～9/9(日)	
		卒業制作 2 421K ディプロマ (展開 1) ※ 1		9/22(土)～9/23(日)	
			卒業制作 2 422T ディプロマ (展開 1) ※ 1	9/29(土)～9/30(日)	

	環境デザイン [建築] V-3 333T 場のかたち			10/13(土)～10/14(日)	秋期 (10～12月) 8/17～8/25
環境デザイン [建築] V-3 334K 場のかたち				10/20(土)～10/21(日)	
		卒業制作 3 431K ディプロマ (展開 2) ※ 2		10/27(土)～10/28(日)	
			卒業制作 3 432T ディプロマ (展開 2) ※ 2	11/3(土)～11/4(日)	
環境デザイン [建築] V-2 323KT 環境 2 (金沢)				11/10(土)～11/11(日)	
				11/17(土)～11/18(日)	
	環境デザイン [建築] V-4 343T 風景と構成	卒業制作 4 441K ディプロマ (展開 3) ※ 2		11/24(土)～11/25(日)	
環境デザイン [建築] V-4 344K 風景と構成			卒業制作 4 442T ディプロマ (展開 3) ※ 2	12/1(土)～12/2(日)	
	環境デザイン [建築] V-1 313T 風景			12/8(土)～12/9(日)	
環境デザイン [建築] V-1 314K 風景				12/15(土)～12/16(日)	
				12/22(土)～12/23(日)	

	環境デザイン [建築] V-5 353T 寸法 2	卒業制作 5 451K ディプロマ (表現) ※ 2	卒業制作 5 452T ディプロマ (表現) ※ 2	1/12(土)～1/13(日)	冬期 (1～3月) 11/17～11/26
				1/19(土)～1/20(日)	
		卒業制作 6 461K ディプロマ (発表) ※ 2	卒業制作 6 462T ディプロマ (発表) ※ 2	1/26(土)～1/27(日)	
環境デザイン [建築] V-5 354K 寸法 2				2/2(土)～2/3(日)	
	環境デザイン [建築] V-6 363T 架構			2/16(土)～2/17(日)	
環境デザイン [建築] V-6 364K 架構				2/23(土)～2/24(日)	

- ※1 「卒業制作1、2」は春期（4～6月）開講分の申込期間にて2科目を同時に申し込み。
- ※2 「卒業制作3～6」は秋期（10～12月）開講分の申込期間にて4科目を同時に申し込み。

9. 履修モデル

通信教育では通学制と異なり履修プランを立てて学習を進めることが重要です。このページから入学区分に応じた履修モデルを紹介します。参考にしながら履修プランを立ててみましょう。
なお、スクーリング日程は京都会場 の日程です。また複数開講しているスクーリングもありますので各自でスクーリング日程表を確認してください。

1年次入学生履修モデル [卒業要件124単位以上]

4年間で学習する場合

1年目

専門教育科目

科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (※4)	ことばと表現	1	TR4					レポート		試験						
	地域を探索	2	TR4					レポート		試験						
	色彩と形	2	TR4								レポート		試験			
	地球科学への招待	2	S					3日間								
学部共通 専門教育科目 (※4)	住宅概論	2	TR7	●				レポート		試験						
	建築史I(近代)	2	TR7	●				レポート		試験						
	建築史2(西洋)※または建築史3(日本)	2	TR7	●										レポート		試験
	構造力学1	2	TR7	●							レポート		試験			
	芸術史講義(ヨーロッパ)1	2	WS		動画 視聴	レポート	講評 視聴									
	芸術史講義(ヨーロッパ)2	2	WS											動画 視聴	レポート	講評 視聴
	学芸専門演習1	1	GS									GS				
	専門演習 テキスト科目	デザイン基礎1(建築)	2	TW	●				第1 課題							
デザイン基礎2(建築)		2	TW	●					第1 課題							
環境デザイン演習[建築]Ⅰ-1		2	TW	●										第1 課題		
環境デザイン演習[建築]Ⅰ-2		2	TW	●								第1 課題				
専門演習 スクーリング科目 ※履修順序の 定めなし	環境デザイン概論[建築]「スターター」	1	S			2日間										
	環境デザイン[建築]Ⅰ-1「フィールドワーク」	1	S	●						2日間						
	環境デザイン[建築]Ⅰ-2「ドローイング」	1	S	●								2日間				
	環境デザイン[建築]Ⅰ-3「立体表現」	1	S	●			2日間									
	環境デザイン[建築]Ⅱ-1「空間表現1」	1	S	●									2日間			
	環境デザイン[建築]Ⅱ-2「平面表現」	1	S	●							2日間					
	環境デザイン[建築]Ⅱ-3「空間表現2」	1	S	●											2日間	
		35	(1年目の修得単位数)													

2年目	科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門教育科目	総合教育科目 (※4)	情報	2	TR4	●	レポート		試験									
		数学	2	TR4											レポート		試験
		哲学への招待 a	2	S								3日間					
		学芸基礎講義1	1	GS				GS									
	学部共通 専門教育科目 (※4)	デザイン論1	2	TR7					レポート		試験						
		建築環境工学	2	TR7	●				レポート		試験						
		建築材料	2	TR7	●	レポート		試験									
		構造力学2	2	TR7	●							レポート		試験			
		立体造形演習1	2	TW								レポート					
		立体造形演習2	2	TW											レポート		
		芸術史講義(近現代)1	2	WS		動画 視聴	レポート		講評 視聴								
		芸術教養基礎	1	S					2日間								

- (※1) TR4：テキストレポート科目（年4回提出） TR7：テキストレポート科目（年7回提出）
TW：テキスト作品科目 TX：テキスト特別科目
S：スクーリング科目 WS：ウェブスクーリング科目 GS：芸術学舎科目
- (※2) ●＝必修科目 [必ず単位を修得することが求められる科目]
空白＝選択科目
- (※3) 卒業判定にかかる年度は卒業制作関連科目以外を冬期（1～3月）に履修することはできません。年度当初から計画的な履修計画を立ててください。
- (※4) 選択科目については一例です。『シラバス』、『芸術学舎パンフレット』『airU マイページ』で単位数や前提条件等を確認し専門教育科目の履修にあわせて計画を立ててください。

2年目	科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門教育科目	専門演習 テキスト科目	環境デザイン基礎1(建築)	2	TW	●				第1課題								
		環境デザイン基礎2(建築)	2	TW	●							第1課題					
		環境デザイン演習[建築]Ⅱ-1	2	TW	●		第1課題										
		環境デザイン演習[建築]Ⅱ-2	2	TW	●								第1課題				
	専門演習 スクーリング科目 ※履修順序の 定めなし	環境デザイン[建築]Ⅲ-1「寸法1」	1	S	●	2日間											
		環境デザイン[建築]Ⅲ-2「環境1」	1	S	●	2日間											
		環境デザイン[建築]Ⅲ-3「集住」	1	S	●				2日間								
		環境デザイン[建築]Ⅳ-1「住宅架構」	1	S	●										2日間		
		環境デザイン[建築]Ⅳ-2「表現」	1	S	●											2日間	
		環境デザイン[建築]Ⅳ-3「CAD」	1	S	●							2日間					
			36	(2年目の修得単位数)													

3年目	科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門教育科目	総合教育科目 (※4)	都市デザイン論	2	TR4					レポート		試験						
		外国語1	2	TR4								レポート		試験			
		都市環境への招待 a	2	S								3日間					
		世界単位研究1	2	S									3日間				
	学部共通 専門教育科目 (※4)	デザイン論2	2	TR		レポート		試験									
		都市概論	2	TR7	●	レポート		試験									
		建築設備	2	TR7	●				レポート		試験						
		建築法規	2	TR7	●							レポート		試験			
		芸術史講義(近現代)2	2	WS					動画 視聴	レポート	講評 視聴						
		学芸専門演習2	1	GS			GS										
		学芸専門演習3	1	GS											GS		
	専門演習 テキスト科目	環境デザイン演習[建築]Ⅲ-1	2	TW	●				第1課題								
		環境デザイン演習[建築]Ⅲ-2	2	TW	●							第1課題					
	専門演習 スクーリング科目 ※履修順序の 定めなし	環境デザイン[建築]Ⅴ-1「風景」	1	S	●			2日間									
		環境デザイン[建築]Ⅴ-2「環境2」	1	S	●			2日間									
		環境デザイン[建築]Ⅴ-3「場のかたち」	1	S	●	2日間											
		環境デザイン[建築]Ⅴ-4「風景と構成」	1	S	●									2日間			
		環境デザイン[建築]Ⅴ-5「寸法2」	1	S	●											2日間	
		環境デザイン[建築]Ⅴ-6「架構」	1	S	●											2日間	
			30	(3年目の修得単位数) 翌年度、卒業制作に着手するためには、卒業制作着手仮要件を満たす必要があります。													

4年目	科目群・区分		科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期(※3)		
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門教育科目	総合教育科目 (※4)		文化研究1	2	TR4		レポート		試験							卒業判定にかかる 方は卒業関連科目 以外の科目を冬期 (1～3月)に履修す ることはできません。		
			地域環境論	2	TR4				レポート		試験							
			伝統芸術基礎(煎茶)	2	S			3日間										
			学芸基礎講義2	1	GS		GS											
	学部共通 専門教育科目 (※4)		建築生産	2	TR7	●	レポート		試験									
			芸術史講義(日本)1	2	WS		動画 視聴	レポート	講評 視聴									
			芸術史講義(日本)2	2	WS					動画 視聴	レポート	講評 視聴						
	専門演習 テキスト科目	環境デザイン演習[建築]Ⅳ	4	TX	●								第1 課題					第2 課題
	専門演習 スクーリング科目		卒業制作1～6	「ディプロマ(計画)」	6	S	●			2日間								
				「ディプロマ(展開1～3)」									2日間	2日間	2日間			
「ディプロマ(表現)」															2日間			
「ディプロマ(発表)」															2日間			
				23	(4年目の修得単位数)													

	124	(合計修得単位数)
--	-----	-----------

3年次編入学生履修モデル [卒業要件72単位以上]

2年間で学習する場合

1年目	科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合教育科目	情報	2	TR4	●				レポート		試験						
	学部共通 専門教育科目	住宅概論	2	TR7	●				レポート		試験						
		建築史1(近代)	2	TR7	●				レポート		試験						
		建築史2(西洋) ※または建築史3(日本)	2	TR7	●							レポート		試験			
		建築環境工学	2	TR7	●							レポート		試験			
		建築材料	2	TR7	●										レポート		試験
		構造力学1	2	TR7	●							レポート		試験			
		構造力学2	2	TR7	●										レポート		試験
	専門演習 テキスト科目	デザイン基礎1(建築)	2	TW	●		第1課題										
		デザイン基礎2(建築)	2	TW	●				第1課題								
		環境デザイン演習[建築]Ⅰ-1	2	TW	●					第1課題							
		環境デザイン演習[建築]Ⅰ-2	2	TW	●				第1課題								
		環境デザイン基礎1(建築)	2	TW	●							第1課題					
		環境デザイン基礎2(建築)	2	TW	●								第1課題				
		環境デザイン演習[建築]Ⅱ-1	2	TW	●							第1課題					
		環境デザイン演習[建築]Ⅱ-2	2	TW	●										第1課題		
	専門演習 スクーリング科目 ※履修順序の 定めなし (但し、1年次 →2年次の順に 履修するのが 望ましい。)	環境デザイン概論[建築]「スターター」	1	S			2日間										
		環境デザイン[建築]Ⅰ-1「フィールドワーク」	1	S	●						2日間						
		環境デザイン[建築]Ⅰ-2「ドローイング」	1	S	●				2日間								
		環境デザイン[建築]Ⅰ-3「立体表現」	1	S	●			2日間									
		環境デザイン[建築]Ⅱ-1「空間表現1」	1	S	●					2日間							
		環境デザイン[建築]Ⅱ-2「平面表現」	1	S	●			2日間									
		環境デザイン[建築]Ⅱ-3「空間表現2」	1	S	●				2日間								
		環境デザイン[建築]Ⅲ-1「寸法1」	1	S	●						2日間						
		環境デザイン[建築]Ⅲ-2「環境1」	1	S	●							2日間					
		環境デザイン[建築]Ⅲ-3「集住」	1	S	●								2日間				
		環境デザイン[建築]Ⅳ-1「住宅架構」	1	S	●									2日間			
		環境デザイン[建築]Ⅳ-2「表現」	1	S	●										2日間		
		環境デザイン[建築]Ⅳ-3「CAD」	1	S	●							2日間					
			45	(1年目の修得単位数) 翌年度、卒業制作に着手するためには、卒業制作着手要件を満たす必要があります。													

2年目

科目群・区分		科目名		単位数	履修形態(※1)	必修(※2)	春期			夏期			秋期			冬期(※3)						
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
専門教育科目	学部共通 専門教育科目	都市概論		2	TR7	●	レポート		試験								卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期(1～3月)に履修することはできません。					
		建築設備		2	TR7	●				レポート		試験										
		建築生産		2	TR7	●				レポート		試験										
		建築法規		2	TR7	●	レポート		試験													
	専門演習 テキスト科目	環境デザイン演習[建築]Ⅲ-1		2	TW	●	第1課題															
		環境デザイン演習[建築]Ⅲ-2		2	TW	●					第1課題											
		環境デザイン演習[建築]Ⅳ		4	TX	●								第1課題					第2課題			
	専門演習 スクーリング科目	環境デザイン[建築]Ⅴ-1「風景」		1	S	●			2日間									卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期(1～3月)に履修することはできません。				
		環境デザイン[建築]Ⅴ-2「環境2」		1	S	●			2日間													
		環境デザイン[建築]Ⅴ-3「場のかたち」		1	S	●	2日間															
		環境デザイン[建築]Ⅴ-4「風景と構成」		1	S	●		2日間														
		環境デザイン[建築]Ⅴ-5「寸法2」		1	S	●					2日間											
		環境デザイン[建築]Ⅴ-6「架構」		1	S	●				2日間												
		卒業制作1～6	「ディプロマ(計画)」		6	S	●			2日間												
			「ディプロマ(展開1～3)」										2日間	2日間	2日間							
「ディプロマ(表現)」															2日間							
「ディプロマ(発表)」															2日間							
				28	(2年目の修得単位数)																	

▶ (※1) (※2) (※3) については p.14 を参照。

3年間で学習する場合

1年目

科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目	情報	2	TR4	●				レポート		試験						
学部共通 専門教育科目	住宅概論	2	TR7	●				レポート		試験						
	建築史1(近代)	2	TR7	●				レポート		試験						
	建築史2(西洋)※または建築史3(日本)	2	TR7	●										レポート		試験
	建築環境工学	2	TR7	●							レポート		試験			
	構造力学1	2	TR7	●							レポート		試験			
専門演習 テキスト科目	デザイン基礎1(建築)	2	TW	●		第1課題										
	デザイン基礎2(建築)	2	TW	●				第1課題								
	環境デザイン演習[建築]Ⅰ-1	2	TW	●					第1課題							
	環境デザイン演習[建築]Ⅰ-2	2	TW	●							第1課題					
	環境デザイン基礎1(建築)	2	TW	●								第1課題				
	環境デザイン演習[建築]Ⅱ-1	2	TW	●										第1課題		
専門演習 スクーリング科目 ※履修順序の 定めなし (但し、1年次 →2年次の順に 履修するのが 望ましい。)	環境デザイン概論[建築]「スターター」	1	S			2日間										
	環境デザイン[建築]Ⅰ-1「フィールドワーク」	1	S	●						2日間						
	環境デザイン[建築]Ⅰ-2「ドローイング」	1	S	●				2日間								
	環境デザイン[建築]Ⅰ-3「立体表現」	1	S	●			2日間									
	環境デザイン[建築]Ⅱ-1「空間表現1」	1	S	●					2日間							
	環境デザイン[建築]Ⅱ-2「平面表現」	1	S	●			2日間									
	環境デザイン[建築]Ⅱ-3「空間表現2」	1	S	●				2日間								
	環境デザイン[建築]Ⅲ-1「寸法1」	1	S	●							2日間					
	環境デザイン[建築]Ⅲ-2「環境1」	1	S	●								2日間				
	環境デザイン[建築]Ⅲ-3「集住」	1	S	●									2日間			
		34	(1年目の修得単位数)													

2年目

科目群・区分		科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門教育科目	学部共通 専門教育科目	都市概論	2	TR7	●				レポート		試験						
		建築材料	2	TR7	●	レポート		試験									
		建築設備	2	TR7	●				レポート		試験						
		構造力学2	2	TR7	●							レポート		試験			
	専門演習 テキスト科目	環境デザイン基礎2(建築)	2	TW	●		第1課題										
		環境デザイン演習[建築]Ⅱ-2	2	TW	●				第1課題								
		環境デザイン演習[建築]Ⅲ-1	2	TW	●							第1課題					
		環境デザイン演習[建築]Ⅲ-2	2	TW	●										第1課題		
	専門演習 スクーリング科目 ※履修順序の 定めなし (但し、1年次 →2年次の順に 履修するのが 望ましい。)	環境デザイン[建築]Ⅳ-1「住宅架構」	1	S	●						2日間						
		環境デザイン[建築]Ⅳ-2「表現」	1	S	●						2日間						
		環境デザイン[建築]Ⅳ-3「CAD」	1	S	●				2日間								
		環境デザイン[建築]Ⅴ-1「風景」	1	S	●									2日間			
		環境デザイン[建築]Ⅴ-2「環境2」	1	S	●								2日間				
		環境デザイン[建築]Ⅴ-3「場のかたち」	1	S	●							2日間					
		環境デザイン[建築]Ⅴ-4「風景と構成」	1	S	●									2日間			
		環境デザイン[建築]Ⅴ-5「寸法2」	1	S	●											2日間	
		環境デザイン[建築]Ⅴ-6「架構」	1	S	●											2日間	
			25	(2年目の修得単位数) 翌年度、卒業制作に着手するためには、卒業制作着手要件を満たす必要があります。													

3年目

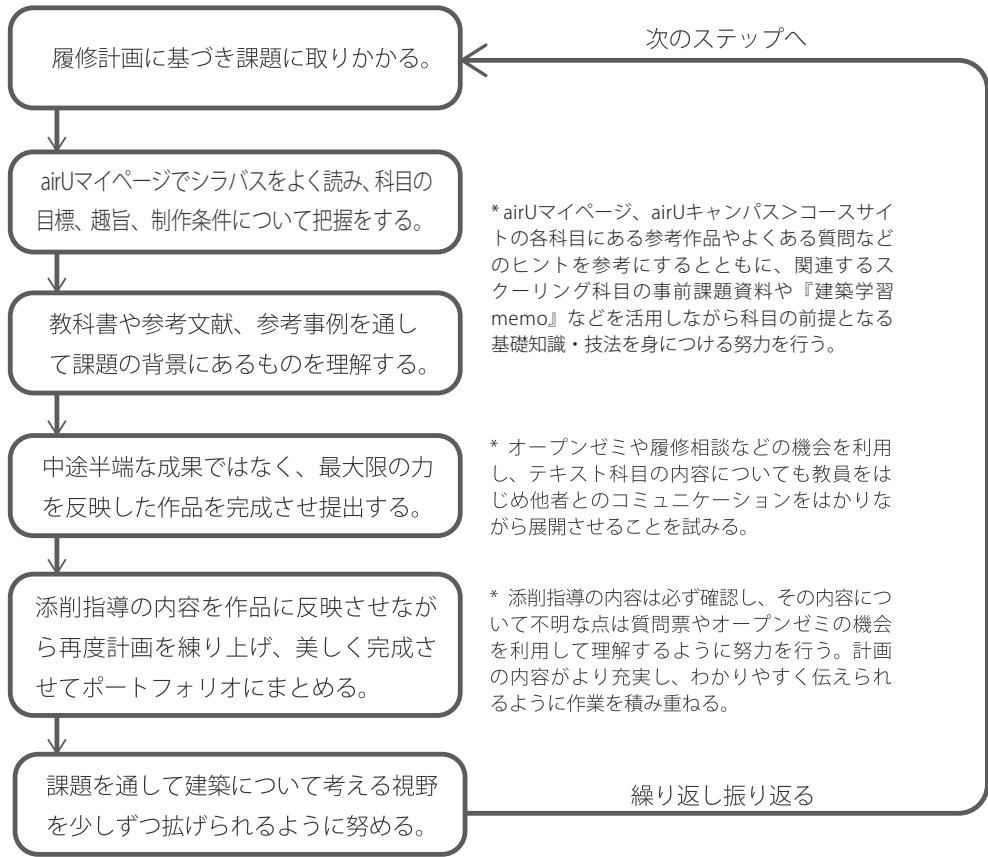
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期(※3)			
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
専門教育科目	学部共通 専門教育科目	建築生産	2	TR7	●				レポート		試験				卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期(1~3月)に履修することはできません。		
		建築法規	2	TR7	●	レポート		試験									
	専門演習 テキスト科目	環境デザイン演習[建築]Ⅳ	4	TX	●							第1課題				第2課題	
	専門演習 スクーリング科目	卒業制作1~6	「ディプロマ(計画)」	6	S	●			2日間								
			「ディプロマ(展開1~3)」								2日間	2日間	2日間				
			「ディプロマ(表現)」											2日間			
			「ディプロマ(発表)」											2日間			
		14	(3年目の修得単位数)														

73	(合計修得単位数)
----	-----------

▶ (※1) (※2) (※3) については p.14 を参照。

10. 専門演習テキスト科目 (TW・TX)

テキスト科目とは、大学から送付されるテキスト、参考文献や airU マイページ、airU キャンパス＞建築デザインコースサイトで提供される WEB 教材をもとに自宅で学習を進める科目です。通信教育部ではテキスト科目が中心的な授業であり、対面授業であるスクーリングで学んだ内容などを活かしながらシラバスに記載されている課題に取り組みます。課題の成果物は airU マイページや郵送で提出し、教員による添削指導を受けます。



履修ルール編

●履修順序

テキスト科目には着実にステップアップするために履修順序があります。基本的に1年次科目→2年次科目→3年次科目→4年次科目（卒業制作）の順番に履修してください。年次ごとに履修の前提条件を設けていますので、着手する際には本書 pp.10～11「履修条件図」および各科目の「配当年次」「履修の前提条件」「課題提出順序」などを確認したうえで取り組んでください。また、スクーリング科目とのつながりを確認しながらバランス良く取り組んでください。

●提出期間と返却の目安

▶『学習ガイド 2018』 pp.34～36 も参照

課題提出スケジュール		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TW	テキスト作品科目	作品 11～20	作品 11～21		作品 11～20	作品 11～20		作品 11～20	作品 11～20		作品 11～21	作品 11～20	
TX	テキスト特別科目	課題の提出期間は科目により設定されます。											

- ・ TW 科目：・ airU 提出は提出期間の初日 13:00 ～最終日 13:00 大学サーバー着信分まで。
 - ・ 郵送提出は【必着】、窓口提出は当日窓口受付時間まで。
 - ・ 返却は提出年度の翌月中旬（10 日～ 20 日前後）をめどに行います。
- ・ TX 科目「環境デザイン演習 [建築] IV」の提出期間は本書 p.7 および airU マイページ＞カリキュラム一覧＞環境デザイン演習 [建築] IVを確認してください。返却は課題提出締切日の約 25 日後をめどに行います。

各提出期間の締切をわずかも過ぎってしまった場合は、翌提出期間での受け付けとなりますので注意してください。

●テキスト課題提出物の指針とルール

建築デザインコース専門演習テキスト科目の提出物は科目ごとにルールが定められています。ルールを逸脱した提出物は評価対象外の扱いとされることがあり、その場合、翌提出期間以降に再度提出することになるので、各科目の『シラバス』をよく確認のうえ提出してください。以下の3点は提出物に関する基本ルールです。

①体裁について

- ・実物を提出する場合、提出用紙の書式やサイズ、紙質、枚数、縦横の使い方に指定がある場合は遵守すること。用紙は白色とする。パネル貼り付けは不可とする。
- ・指定用紙フォーマットがあるものはそちらを使用する。
- ・切り貼りしたままの状態のものは制作途中と判断する。切り貼りで制作した後に必ずカラーコピーで仕上げる。クリアファイル（ブックタイプのファイル）に綴じて提出する課題でも切り貼り完了後、必ずカラーコピーしたものを提出する。
- ・レイアウトが検討されておらず、乱雑に切り貼りされたものも不備返却または再提出の対象となる。
- ・airU マイページから提出する場合、作品データはすべて PDF 化し、1つのファイルに結合する。（ただし課題の提出形式で指示がある場合はそれに従う。）

②表現方法

- ・図面は① CAD データを出力／②アナログで手描きのどちらでも可とする。（ただし、課題の制作条件で指定がある場合はそれに従う。）
- ・図面や模型写真をレイアウトしたプレゼンテーションシートは CAD ソフトやグラフィックソフトを用いて作成したものを出力してもよいし、A3 用紙に切り貼りしてレイアウトしたものをカラーコピーしてまとめたものでもよい。ただし、手描きの指示がある部分は、コピー後に取り組む。

③著作権について

各科目の履修に際しては『学習ガイド』 pp.166～168「著作権について」の内容を確認し、著作権のルールとマナーについて意識をして学習を進める。

●課題の提出方法

「作品の実物を郵送・窓口」「作品データをairUマイページ（Web）提出」の2通りがあります。課題内容や制作条件により提出方法が異なりますのでシラバス各科目ページの「課題提出方法」を確認してください。再提出時は初回提出方法に準じてください。（初回提出「郵送」→再提出「airU マイページ」は提出不可。）

●「郵送・窓口」提出時の注意事項

- ・雨に濡れた際などの破損を防ぐため、作品は A3 サイズのクリアファイル（クリアフォルダー）（市販のもの）に入れてください。
- ・クリアファイル（クリアフォルダー）本体に油性ペンを使って楷書で「学籍番号、氏名」を明記してください。
- ・大学指定の作品送付用大型封筒（A3 サイズ）を使用してください。
- ・提出物の折り曲げは厳禁です。

●「airUマイページ」提出時の注意事項

airU 学習ガイド > 3. 履修・学習 > テキスト作品科目（TW）の項を参照し課題提出の手順と注意点を把握しておいてください。提出するファイルの種類や形式などはシラバス記載の基本条件および以下のルールを必ず守ってください。

なお、課題提出ページにある「キャプション欄」の記入は不要です。

①作品データはすべて PDF 化する（▶「PDF 化について」は本書 pp.28～29 参照）

作品データの提出形式は PDF 形式（.pdf）に統一されています。提出フォルダ（.zip）の中身が CAD ソフト（Vectorworks や AutoCAD など）などのソフトウェア固有のファイル形式（.dwg など）のままで、

PDF (.pdf) のファイル形式に変換されていない場合は受付後であっても添削不可(D 評価)として返却する。
また、PDF化したデータは必ず実際に出力して線の種類や色の使い分け、文字化けがないかを確認する。

②提出ファイルの形式

「PDF 形式 (.pdf)【推奨】」または「Zip 形式 (.zip)」ファイルで提出する。その他の形式で提出された課題は評価対象外として扱う。1つの課題につきファイルは1つしか提出できないためPDF化した作品データ(複数ページ)は1つのファイルに結合して提出することを基本とする。

・PDF 形式 (.pdf)で提出

Adobe Acrobat などの PDF 編集ソフトを利用し、複数ページを1つのファイルに結合して提出する。ファイル名は「学籍番号.pdf」とすること。▶PDFファイルへの変換方法は、本書 pp.28～29 参照

・Zip 形式 (.zip)で提出

PDF をひとつのファイルに結合できない場合は複数のページをひとつのフォルダにまとめ Zip 形式 (.zip) で圧縮する。

PDFデータのファイル名は以下ルールに従ってつける。

学籍番号_科目コード_ページ番号.pdf (例: 31672000_72602_01.pdf)

圧縮後のファイル名は「学籍番号.zip」とすること。Zip 形式以外の圧縮ファイルは評価対象外として扱う。特に自己解凍式圧縮ファイルはウイルス対策のため見つけ次第、送信者に通知せずに削除する。

③ファイル容量

提出ファイルの容量は20MB以下にすること。サーバ管理上の上限を設けているため容量を超過したファイルは提出できない。超過する場合は郵送・窓口の方法で提出する。

④提出前にもう一度データを確認する

提出ファイルの不備(指定外のファイル形式、提出データの破損、PDF 変換時のミス、ページ不足、Zip形式ファイルの中身がPDF ファイルに変換されていない、中身が制作条件を満たしていない、誤って別科目の課題データを提出など)についてはすべて評価対象外として扱い、再提出(D評価)となる。ファイルが問題なく開くことができるかどうか確認したうえで提出する。

●課題提出時のトラブル

基本的に、パソコンやインターネット等のトラブルによって課題提出期間に間に合わなかった場合でも例外的な受付措置はできません。自らトラブルの発生を防ぐ方策を講じてください。万一、トラブルが発生した場合は、質問専用メールアドレス(question@air-u.kyoto-art.ac.jp)宛に締切日当日13:00 までに具体的な内容を報告してください。トラブルの内容を正確に把握するため電話での連絡は受け付けません。メールまたはFAX 以外での連絡では対応できませんので、注意してください。

●出力について

作品実物を提出する場合、A3サイズ用紙の出力については自前のプリンタで行うことが制作上最も好ましいが、以下に挙げる方法でも可能です。

①「ネットプリント」を利用

「ネットプリント」を利用するとコンビニでA3 サイズ用紙にプリントすることが可能。

「ネットプリント」<http://www.printing.ne.jp/> を参照。

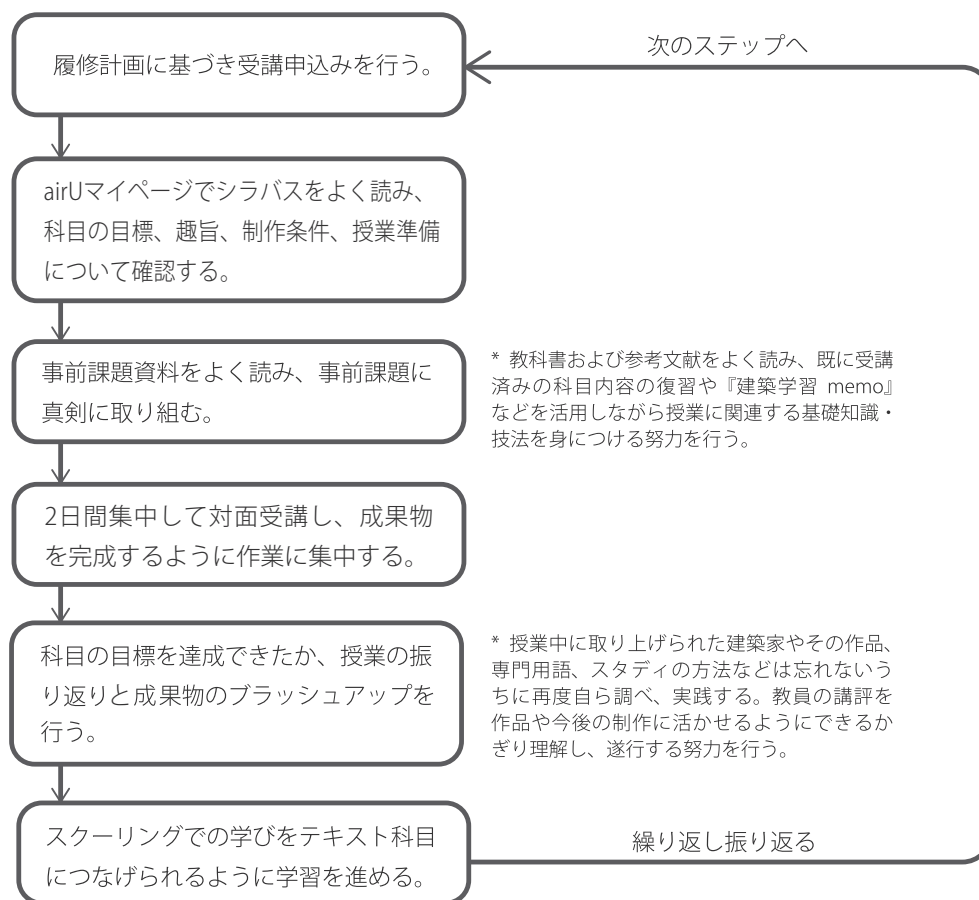
※「ネットプリント」を利用する場合、AutoCAD や Vectorworks 書類はPDFファイルに変換する必要がある。PDF ファイルへの変換方法についてはpp.28～29を参照。

②A4プリンタを使用し、A3 サイズに貼り合わせ

A4 サイズ用紙2枚にプリントして、それらをA3 サイズに貼り合わせて提出する場合はメンディングテープを用い美しく貼り合わせたものを提出すること。セロハンテープで繋ぎ合わせたものなど、乱雑な作品は評価対象外とする。

11. 専門演習スクーリング科目 (S)

スクーリング科目とは、学習用 WEB サイト「airU マイページ」を活用した事前学習と2日間の対面授業で構成される科目です。科目の到達目標に応じて設定される課題に事前課題と授業を通して取り組み、それぞれに作品を完成させます。対面授業における指導・講評をもとに自主的に自宅で作品のブラッシュアップを行い、授業の振り返りを行います。



履修ルール編

●履修順序

1年次配当科目「環境デザイン[建築]Ⅰ-1～Ⅱ-3」をすべて受講した上で、その成果に基づいて2年次配当科目「環境デザイン[建築]Ⅲ-1～Ⅳ-3」→3年次配当科目「環境デザイン[建築]Ⅴ-1～6」へ進むことが基本です。

どうしても都合がつかない場合、1～2年次配当の「環境デザイン[建築]Ⅰ-1～Ⅳ-3」は配当年次(※)とは別の前提条件を設けていませんので配当年次に到達していれば、1年次配当科目と2年次配当科目の順序を多少入れ替えて受講することも可能です。しかしながら、2年次配当科目の授業は1年次配当科目を、3年次配当科目の授業は2年次配当科目を履修していることを前提に進めていきますので、そのことも念頭において受講計画を立ててください。

「環境デザイン[建築]Ⅰ-1～Ⅱ-3」、「環境デザイン[建築]Ⅲ-1～Ⅳ-3」、「環境デザイン[建築]Ⅴ-1～6」はそれぞれ履修順序を定めない緩やかな課題設定としているため、自由な順に履修することが可能です。同一内容のスクーリングを年間複数回開講しているため、各自のスケジュールに合わせて授業日程を選択してください。

なお、やむを得ない事情による欠席、自然災害などによる授業の休講等もありえますので、そのような状況にも対応できるよう受講計画には余裕を持たせてください。

(※)「配当年次」は履修のための前提条件でありその年次に到達していないと履修はできません。1年次入学生の場合、入学1年目が1年次、2年目が2年次、3年目が3年次となる。3年次編入学生の場合は入学1年目から3年次となる。

●履修の前提条件

1・2年次配当スクーリング科目は履修の前提条件はありませんので、配当年次に到達していれば履修可能です。学習効果の面から1年次配当科目を合格後、2年次配当科目へ着手するという段階的な履修方法をおすすめします。3・4年次配当のスクーリング科目は履修の前提条件が設けられています。スクーリングの申し込みまでに履修の前提条件を満たしていなければ、申し込みをされても不許可となりますのでご注意ください。

▶履修の前提条件となる各課題の提出締切日は『学習ガイド』p.53 参照。

＜スクーリング科目の履修の前提条件＞

配当年次	前提条件	
1年次	なし	
2年次	なし	
3年次	スクーリング申込までに「環境デザイン基礎1(建築)」 「環境デザイン演習[建築]Ⅱ-1」を合格済みのこと	
4年次 (卒業制作)	卒業制作1,2	前年度末までに卒業制作着手仮要件を充足していること
	卒業制作3~6	スクーリング申込までに p.7 のスクーリング申込条件を満たしていること

配当年次が3年次以上の方（1年次入学生は入学3年目、3年次編入学生は入学1年目）は、スクーリング申し込みまでに専門演習テキスト科目「環境デザイン基礎1（建築）」 「環境デザイン演習[建築]Ⅱ-1」が合格済みであれば1、2年次配当スクーリング科目「環境デザイン[建築]Ⅰ-1～Ⅳ-3」をすべて履修済みでなくても3年次配当科目「環境デザイン[建築]Ⅴ-1～6」の受講が可能です。

●スクーリング受講成立条件と欠席・遅刻・早退の取り扱い

スクーリング科目では「事前課題の取り組み」「2日間（全10講時）の出席」「作品・成果物の完成と発表」が認められることで受講が成立します。

欠席はもちろんですが、遅刻、早退、中抜けも「授業放棄」と見なされ、確認された段階で欠席扱いとなり単位認定の対象となりませんので十分に注意してください。

もしやむを得ない事情により一時的に欠席するような事態が発生した場合は、その旨を速やかにコースまでFAX・メールでお知らせください。

申し込み編

●申込方法（先行募集）

スクーリング科目はおおよそ3ヶ月に1回、年に4回の先行募集申込期間が設定されています。申込期間内に airU マイページから申し込んでください（郵送・窓口も可）。申込時期になっても大学からのスクーリング申込案内は送付されませんので、次ページの表で申込スケジュールを確認のうえ履修計画にもとづき、期間内に申し込んでください。

●キャンセルについて

スクーリング受講許可が出た後は、キャンセル時期によって10%～100%のキャンセル料が発生します。事前に受講計画を立てた上で申し込みをしてください。

●追加募集申込

先行募集後に定員に空きがある科目はスクーリング開講の30～5日前まで随時追加募集を行います。募集科目および募集期間は airU マイページにて確認してください。先行募集申込において定員に達した科目の追加募集は行いませんので、受講予定の科目は先行募集で申し込んでください。

▶その他、詳細は『学習ガイド』pp.50～57 参照

＜スクーリング申込スケジュール＞

開催回（開催月）	先行募集申込期間	追加募集申込期間
春期（4～6月）	3/26～3/31（※1）	4/12～開講 30～5日前
夏期（7～9月）	5/17～5/25	6/11～開講 30～5日前
秋期（10～12月）	8/17～8/25	9/10～開講 30～5日前
冬期（1～3月）	11/17～11/26	12/10～開講 30～5日前

- ・追加募集申込締切日は科目によって異なります。airU マイページ「スクーリングを申し込む」で確認してください。
- ・airU 申込は申込締切日 13:00 まで。郵送申込は申込締切日【必着】まで。
- （※1）「卒業制作 1、2」の Web 申込開始は 3/29（木）13:00～です。

準備編

●事前課題

スクーリング授業は自宅学習として事前に取り組む事前課題が必須であり、それらは内容的に一体として構成されています。2日間という集中した対面授業で学習効果をあげるためにも事前学習の内容は受講 1ヶ月前には airU マイページにて確認してください。

スクーリング授業は、事前課題が完了していることを前提で進めていきます。スクーリング受講までに airU マイページより各科目の事前課題に取り組み、指定のあるものはスクーリング当日に持参してください。取り組んでいない場合や指定の持参物が準備できていない場合は、成績評価ができません。事前課題において指示がある科目は各自プリントアウトのうえ持参してください。

●持参物・使用教材

airU マイページの各スクーリング科目シラバスに掲載している【各自必ず持参】は自己負担で購入し、スクーリング会場に必ず持参してください。【可能な限り持参】は持参することでスムーズに制作ができるものです。

▶本書 p.30「制作に必要な道具」を参照

●ノート型パソコン持参のスクーリング

- ・2年次スクーリング科目「環境デザイン [建築] IV-2 (表現)」「環境デザイン [建築] IV-3 (CAD)」においてはノート型パソコンの持参が必須となります。
- ・受講前にノート型 PC に授業で使用する CAD ソフト「AutoCAD」（学生版は無償）がインストールされており問題なく起動することを確認して持参してください。ソフトウェアのインストールなど持参するノート型パソコンの準備に不安のある方は早めに研究室へご質問ください。（▶本書 pp.27～29 参照）
- ・PC を使用するスクーリングでは「学内 LAN 利用アカウント」を必ず持参してください。忘れると学内 LAN に接続することができません。「学内 LAN 利用アカウント」は入学許可後、全学生に発行し本学情報システム課から郵送されています。
- ▶紛失時の再発行手続きは『学習ガイド』p.95 を参照。

●個人パソコンの学内 LAN 接続方法

持参したノート型パソコンを使用するスクーリング授業では、個人のパソコンを学内の無線 LAN に接続し、インターネットを利用します（有線接続はできません）。大学で無線 LAN に接続するときには、まずはじめに個人パソコンに wifi の接続設定を行ったうえで、「学内 LAN 利用アカウント」を入力します。「学内 LAN 利用アカウント」は利用の都度、入力が必要となりますので必ず持参してください。学内 LAN を利用するための設定方法は「学内 LAN 個人パソコン接続利用ガイド」に記載されています。以下の URL にアクセスし事前に確認しておいてください（設定作業はスクーリング当日に行います）。

学内 LAN 利用（通信教育部向け） <http://glan.kyoto-art.ac.jp/cclan/>

▶詳細は『学習ガイド』pp.95～97 参照。

▶「学内 LAN 利用アカウント」再発行については『学習ガイド』p.95 参照。

●スクーリング開講時間

1 講時	9:30 ~ 10:50
2 講時	11:00 ~ 12:20
3 講時	13:20 ~ 14:40
4 講時	14:50 ~ 16:10
5 講時	16:20 ~ 17:40

2日間全10講時を左記時間割にて開講します。ただし、校外開講スクーリングなど、必要に応じて時間帯を変更する場合があります。

17:40が授業終了ですが、講評会がやむを得ず長引く場合があります。終了後すぐに出発しなければ帰宅の交通機関に間に合わない場合は担当教員にその旨を伝え、講評を受ける順番を早めてもらってください。

●教室の使用時間

朝は8:30に開場します。授業終了後は20:00まで使用できます。(20:00には完全に退室できるように片付けをしてください。)

●講評会・審査会の公開

2、3年次の専門演習スクーリング最終日に行う講評会は、建築デザインコース在籍者は聴講することができます(学外授業など一部授業を除く)。聴講に際しては必ず学生証を携帯し、必要な場合には提示してください。

●スクーリングで制作した作品について

作品のデータを保存しておくことは、ポートフォリオを作成するうえで、重要な材料の一つとなります。ポートフォリオの作成に取りかかりやすくするために、模型を制作するスクーリング授業では模型を撮影できるよう仮設の撮影場所を設置します。各自デジタルカメラを持参して模型写真の撮影を行ってください。また、スクーリングで制作した模型は必ず持ち帰ってください。持ち帰るための袋や梱包材などは、各自準備が必要です。

●スクーリング中の撮影・録音などについて

著作権・肖像権・個人情報などの保護を目的とし、授業(板書や配付物も含む)や授業風景を断りなく録音・録画・公開すること、配付物の(学習目的以外の)複製、授業中に制作された作品のうち自分以外の作品のビデオ撮影・写真撮影・複製などの行為を禁止します。

▶詳細は『学習ガイド』p.58を参照。

振り返り編

スクーリングで学んだことをしっかりと身につけるために受講後には復習し授業で未完成の作品は完成させ模型写真や図面等を美しい光のもとで撮影しておくといいでしょう。最終的には、それらをポートフォリオ制作のための素材にしてください。

12. 学部共通専門教育科目（TR） ※必修科目

学部共通専門教育科目（TR 科目）ではコース専門演習テキスト科目（TW・TX 科目）、スクーリング科目（S 科目）だけでは習得できない各分野の専門知識を補完できるように教科書を中心にレポート課題に取り組み、合格後は単位修得試験を受験します。

建築デザインコースにおける学部共通専門教育（TR）科目の必修科目はシラバス・教材の閲覧、レポート提出、添削指導、単位修得試験の受験まですべて airU マイページ（Web）上での履修となります。

▶『学習ガイド』pp.40～41、airU 学習ガイド＞3. 履修・学習参照。



●履修順序

学部共通専門教育科目では特に履修の順序はありませんが、履修の推奨年次を本書 pp.8～9「カリキュラムマップ」に記載しています。

●提出期間と単位修得試験

課題提出・単位修得試験スケジュール		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR	テキストレポート科目	レポート 21～5/1	レポート 21～30	試験 1～8	レポート 21～30	レポート 21～30	試験 1～8	レポート 21～30	レポート 21～30	試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8

・airU 提出は提出期間の初日 13:00～最終日 13:00 大学サーバー着信分まで。

・返却は翌月 28 日をめどに行います。

・「情報」は 4 月、7 月、10 月、1 月の年 4 回提出です。TR7 科目も 2019 年度からは年 4 回提出となります。各提出期間の締切をわずかも過ぎてしまった場合は、翌提出期間での受け付けとなりますので注意してください。

●単位修得試験

TR 科目はレポート合格後、単位修得試験に合格しなければ単位認定されません。指定の期間内に忘れず受験してください。Web 試験の事前申込は不要です。

5 月、8 月、11 月のレポート提出で合格した場合は翌期の受験となります（例：5 月レポート合格→9 月試験）。

●レポート課題における二次利用と剽窃

大学で論文・レポートを書く際にはいくつかのルールがあります。

『学習ガイド』p.188～「論文・レポートを書くために」では「レポート執筆の基本」「構成」「人名や資料の表記」「註と参考文献」「剽窃と著作権」などレポート執筆にあたってのルールについて説明されています。レポート課題に取り組む際には必ず目を通してください。

なお、提出物に二次利用や剽窃が認められた場合は学生としてあるまじき行為として厳正に対応します（『学習ガイド』p.37 参照）。

●提出および試験受験にあたっての注意事項

各科目のシラバス、および airU 学習ガイド＞3. 履修・学習＞「テキスト科目（TR）」をよく確認してください。

13. 各種教材

主な教材の一覧です。情報のある場所を把握して必要な時にすぐにとり着けるようにおきましょう。ここでの説明は、特によく参照すると思われる内容を抜粋して記載しています。詳細は、それぞれの教材で確認をしてください。

学習サイト

airU マイページ



- 授業・学習サポートの個人ページ
- ・ シラバス / 課題 / 教材の閲覧
 - ・ 課題提出 / 単位修得試験
 - ・ スクーリング申込等各種手続き
 - ・ 質問 (airU コンシェルジュ)
 - ・ 履修プラン
 - ・ airU 学習ガイド

airU キャンパス



- 大学からの情報
- ・ お知らせ
 - ・ 雲母 (WEB 版)
 - ・ カレンダー (月ごと)
 - ・ 画材購入サイト
 - ・ コースサイトへのリンク

コースサイト



- コースからの学習サポート情報
- ・ 参考作品
 - ・ オープンゼミ / 特別講義の告知
 - ・ 教員プロフィール
 - ・ 書店 / 画材店 / 雑誌リンク集
 - ・ facebook ページ (イベント情報)

学習のルール

学習ガイド



- 学習全般のルール
- ・ 年間スケジュール (提出 / 申込 / 試験)
 - ・ 履修方法
 - ・ 事務手続き
 - ・ Q&A

コースガイド



- コースの学習ルール
- ・ 履修条件図
 - ・ スクーリング日程表
 - ・ 履修モデル
 - ・ パソコンとソフトウェア
 - ・ 学習支援

雲母 Kirara



- 大学からの重要な最新のお知らせ
- ・ 学習全般に関する連絡
 - ・ デザイン科 / コースからの連絡
 - ・ 教員コラム

学習資料

教科書



- 課題に取り組むための教科書
- ・ 必要に応じて参照
 - ・ 必修科目は入学時にすべて送付

参考文献



- 建築の専門書 / 専門雑誌
- ・ 課題制作のヒントが満載
 - ・ 毎月できるだけ参照

芸術文化情報センター



- 参考文献検索の入り口として
- ・ 本学の大学図書館サイト
 - ・ 京都 / 外苑キャンパスの蔵書検索
 - ・ 自宅近辺図書館の蔵書検索
- (「カーリル」へのリンク)

14. パソコンとソフトウェア

パソコン

建築デザインコースでは、2 年次の CAD 系の 2 つのスクーリング「環境デザイン [建築] IV -2 (表現)、V -3 (CAD)」でノート型パソコンを持参していただきます。また、3, 4 年次スクーリングでは、ほとんどの方がノート型パソコンを持参して設計課題に取り組んでおられます。

OS は、Windows でも Macintosh でもどちらでも構いませんが、CAD ソフトウェア（「AutoCAD」）の Mac 版は使用言語が英語のみとなります。

パソコンの必要スペックは、CAD ソフトウェアの推奨動作環境によって決まりますので、CAD ソフトウェアの項を参照して決定してください。

CADソフトウェア「AutoCAD」

スクーリングでは、「オートデスク株式会社」から販売されている「AutoCAD」（オートキャド）という名称の CAD ソフトウェアを使用します。使用するのは 2 年次スクーリングからです。

新入生については新入生ガイダンスや「スターター」で説明しますので、その後のインストールでかまいません。Mac 版の AutoCAD については言語が英語のみとなります。

指定のスクーリング以外では CAD ソフトウェアの指定はありませんので、他の CAD を使用していただいて結構です。

1. AutoCAD 学生版

「AutoCAD 学生版」とは、「オートデスク株式会社」が、学校教育法で定められた学校に所属する学生が個人的な学習目的で利用できる無償の教育支援プログラムのひとつです。在学中（休学含む）の学習目的にのみ使用可能であり、卒業後は使用できません。

2. ソフトウェアの入手方法ダウンロード

ソフトウェアはオートデスク株式会社の Web サイトからソフトウェアのダウンロードして入手します。オートデスク株式会社が運営する Education Community（エデュケーションコミュニティ）で最初に個人のアカウントを作成する必要があります。下記サイトにて新規アカウントを作成し、その後ご自身のパソコンの OS に適した AutoCAD のソフトウェアをダウンロード、インストールしてください。

ダウンロードマニュアルは airU マイページ>カリキュラム一覧>環境デザイン [建築] IV-2、IV-3 > 事前課題に教材としてアップしています。

2018 年度の授業運営は AutoCAD 2017 に基づいて行いますので、「AutoCAD 2017」または「AutoCAD 2018」をインストールしてください。現時点（2018 年 2 月）では「AutoCAD 2018」が最新版となります。

ダウンロードサイト <https://www.autodesk.co.jp/education/free-software/autocad>

3. ライセンス

- ・「オートデスク株式会社」が提供する学生版は同一製品、同一バージョンについては、1 人 1 ライセンスです。個人のデバイスに最大 2 台までインストール可。
- ・学生版は個人使用に限定されますので、ユーザ登録は個人名で受け付けます。
- ・卒業後、退学後の使用はできません（休学中の使用は可）。
- ・学生版を用いて実務設計を行うことはできません。

4. サービスの範囲

AutoCAD 学生版は、インストール、操作方法などに関してオートデスク株式会社のテクニカルサポートを受けることができません。操作方法に関してわからない点があれば、airU マイページ>カリキュラム一覧>環境デザイン [建築] IV-2、IV-3 > Web 教材やオートデスク株式会社が運営するサポートラーニングのサイト（<https://knowledge.autodesk.com/ja/support>）を確認してください。

5. 動作環境

推奨動作環境はオートデスク株式会社 Web サイト>サポートとラーニング>動作環境にてご確認ください（「AutoCAD の動作環境」で検索してください）。

（AutoCAD 2018 の動作環境）

<https://knowledge.autodesk.com/ja/support/autocad/learn-explore/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/System-requirements-for-AutoCAD-2018.html>

（AutoCAD 2017 の動作環境）

<https://knowledge.autodesk.com/ja/support/autocad/learn-explore/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/System-requirements-for-AutoCAD-2017.html>

本コースの学習で使用するにはこちらのスペックで問題ありません。ノート型パソコン持参のスクリーニング授業までに「AutoCAD」をインストールし、動作確認をしておいてください。

【2017年度以前の入学生のみなさんへ】 Vectorworks学生単年度版

2018年度以降も「Vectorworks 学生単年度版（春版・秋版）」（20,000円税別／2017年度実績）は大学を通じて購入することが可能です。

購入方法は、airU学習ガイド>5. Web利用>「特別価格で購入できるソフトウェア」より確認してください。なお、受注発注のため申し込みから商品が届くまで2週間程度かかります。

1. 「Vectorworks 学生単年度版」の使用期間と使用制限

- ・「学生単年度版」は使用期間 13ヶ月（春版は4月1日～翌年4月30日まで、秋版は9月30日～翌年9月30日まで）の限定商品です。
- ・休学中、卒業後、退学後の購入はできません。
- ・複数本の購入はできません（春版と秋版の重複購入も不可）。

2. サービスの範囲

Vectorworks 学生単年度版は、操作方法などに関してエーアンドエー社のテクニカルサポートを受けることができません（インストール時の初期導入トラブルのみサポート対象）。

3. 動作環境

推奨動作環境はエーアンドエー社 Web サイト> Vectorworks 学生単年度版>価格・動作確認より確認してください。

<http://www.aanda.co.jp/products/tannendo/oasis-price.html>

PDF編集ソフトウェア

airU マイページから作品データを提出する際は、データは全て PDF 化していただきます。

Windows 環境で作業をする場合、Windows10 では、印刷ダイアログ画面で、プリンターを「Microsoft Print to PDF」に設定して保存（印刷）します。Windows10 より前のバージョンの場合は、PDF 化するためのソフトウェアのインストールが必要となります。

Apple 社の Mac OS X 以降の Mac を使用している場合は、特別な準備がなくとも PDF 化することが可能です。

1. PDF 化する方法

データを PDF 化するための代表的なソフトウェアは「Adobe Acrobat DC」があり、複数のファイルから単一ファイルへの結合やページの整理などが容易で便利です。

「Adobe Acrobat」を使用して複数のファイルを1つにまとめる方法は以下の Adobe の Web サイトを参照してください。

<https://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/4567.html>

フリーソフトも多種ありますが、登録が必要なものや使用毎に WEB ページが表示されるなどの制限がありますので、ご自身で使用しやすいものを選んでください。

それぞれのソフトで複数の PDF ファイルを 1 つのファイルに結合する方法を各自で学習し、提出時には単一のファイルで提出するようにしてください。

【Adobe 社 Acrobat】（有償・推奨） <http://www.adobe.com/jp/products/acrobat.html>

【BullZip PDF Printer】（無償・日本語版有） <http://www.bullzip.com/>

【pdf_as】（無償・日本語版有） https://forest.watch.impress.co.jp/library/software/pdf_as/

その他

●コンピュータで文書作成する際の文字フォント

コンピュータ上で表示されるほとんどの文字フォント（字体）は各コンピュータ固有のものです。つまり制作に使用しているコンピュータにインストールされた文字フォントは他のコンピュータにデータを移した際に正しく表示されるとは限りません。相手側の使用するコンピュータの機種や OS の種類によってはかなりの差異が生じますので、ゴシック体や明朝体のようにスタンダードなフォントを使用してください。

●PDF 化する際の文字化け

PDF 化した時に文字が表示されない場合には、文字を日本語フォントに置き換えてください。Arial などの英語フォントのまま日本語を入力する場合には画面上では正しく見えていても印刷されない現象が起きます。また、日本語フォントを使用しても、機器やアプリケーション等の環境により、文字組みが崩れるなどの不具合も発生します。airU で課題を提出する場合でも提出前に必ず一度プリントアウトをして確認してください。

●機種依存文字

作品ファイル中に用いる文書において、コンピュータの機種によって異なった表示がされてしまう文字（機種依存文字）の使用は避けてください。機種依存文字とはコンピュータの機種や OS の種類によっては全く異なった文字に表示される文字で、使用しても正しく表示されません。具体的な文字は、「機種依存文字」で検索して調べてください。

特別価格で利用できるソフトウェア

学生・教員向けの「Academico Navi（アカデミコナビ）」では特別価格でのソフトウェア「Adobe Creative Cloud（12 ヶ月）」他およびコンピュータ本体などを扱っています。

airU マイページトップ画面にある関連サイト「Academico Navi」のアイコンよりアクセスしてください。ID と PASS とともに「kyoto-art」です。

15. 制作に必要な道具

スケッチ する道具	①	ドローイングスケッチブック	A5～A4版程度の持ち運びがしやすいサイズのスケッチブックであれば可
	②	鉛筆 (4B, 3B, 2B, B, HB, H, 2H 程度)	ドローイングの授業では全種類必要
	③	練り消しゴム	ドローイングの授業では必要
	④	その他自分の好きな筆記用具	自分の描きやすいもの
	⑤	巻尺 (コンベックス)	寸法を測る (建築を勉強するなら必ず携帯)
図面を描く道具	①	製図用シャープペンシル (0.3・0.5・0.7・0.9 程度)	製図用 (ペン先が長い)
	②	製図用消しゴム	製図用 (一般的なものより堅め)
	③	製図用ペン (0.1・0.3・0.5・0.7程度)	製図用 (線の太さに変化を出す)
	④	色鉛筆、マーカー等の色付ペン	軟らかくて描きやすいもの (12 色程度)
	⑤	A2 ロールトレーシングペーパー (40g)	特に構想イメージの際に使用
	⑥	A4 セクションパッド (方眼紙 5mm 程度)	特に構想イメージの際に使用
	⑦	三角スケール (30cm)	縮尺を変換
	⑧	三角定規30度、45度 (30cm)	垂直線を描く際などに使用
	⑨	字消し板	細かな部分を消す際に使用
	⑩	円テンプレート	小さな円を描く際に使用
	⑪	勾配定規 (20cm 型)	任意の角度の直線を描く際に使用
	⑫	製図用ブラシ	図面の清掃をする際に使用
	⑬	ドラフティングテープ	仮止め用
	⑭	コンパス	円や曲線を描くのに使用
	⑮	製図板、T 定規	手描き製図に使用
	⑯	平行定規	手描き製図に使用
模型などを制作する道具	①	カッター (大)	ダンボールなどの厚い素材を切る時に使用
	②	カッター (小)	薄い材料用、30度の刃を使用
	③	カッター替刃 (大)	数枚あれば十分です
	④	カッター替刃 (小) 30 度	頻繁に折る為、多めに準備すること
	⑤	刃折器	折った刃を安全に捨てる為
	⑥	金属製のさし (小／15cm)	カッターを使用して直線を切断する際に使用 (各サイズ必要)
	⑦	金属製のさし (中／30cm)	
	⑧	金属製のさし (大／60cm)	
	⑨	スコヤ (L 型定規) 15cm	直角に切断する際に使用
	⑩	スチのり (小)	スチレンボード、発砲スチロールの接着用
	⑪	木工用ボンド速乾 (小)	紙、木材接着用
	⑫	ドラフティングテープ	仮止め用
	⑬	両面テープ	大きい面を接着する際にがあると便利
	⑭	ピンセット	細かい部材を接着する際等に使用
	⑮	カッティングマット (A2)	机をいためないよう厚めのもの
	⑯	スプレーのり	大きい面でも均一に塗布できるので便利
	⑰	ソルベント	のりなどをはがすための剥離材
	⑱	ディスペンサー (ソルベント用)	ソルベント専用容器、ソルベント使用に必需品
	⑲	クリーナー	道具・材料の汚れをとるのに使用
	⑳	虫ピン	仮止めする際などに使用
	㉑	紙やすり	部材を仕上げるのに使用
	㉒	スタイロカッター (プロクソン)	スタイロフォームや発砲スチロールを美しく切断する際に使用

airU マイページに道具の紹介・解説を掲載しています。

- ・図面を描く道具: airU マイページ>カリキュラム一覧>環境デザイン[建築]Ⅱ-2(平面表現) > 事前課題
- ・模型などを制作する道具: airU マイページ>カリキュラム一覧>環境デザイン[建築]Ⅰ-3(立体表現) > 事前課題
- ・メーカー・品番等は下記画材店の Web サイトを参照。

●教材の購入について

道具・教材類は一般的な文具店や画材店で購入できます。お近くに適当な販売店が見つからない場合は下記の通信販売店をご利用ください。全て通販に対応しており、airU キャンパストップページのバナーからのリンクで本学通信教育部専用サイトへアクセスできます。

[京都] AD ストア (大学購買部) <http://www.adstore-kuad.co.jp>

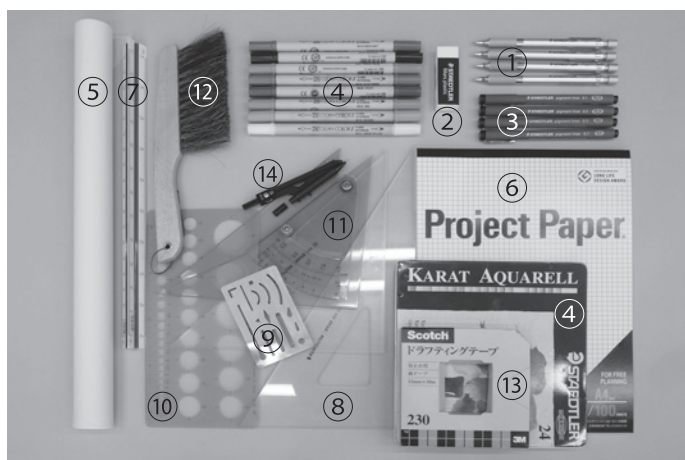
[東京] 東美 上野駅前店 <http://www.e-tobi.co.jp/>

[東京] レモン画翠 (画材店) <http://www.lemon.co.jp/>

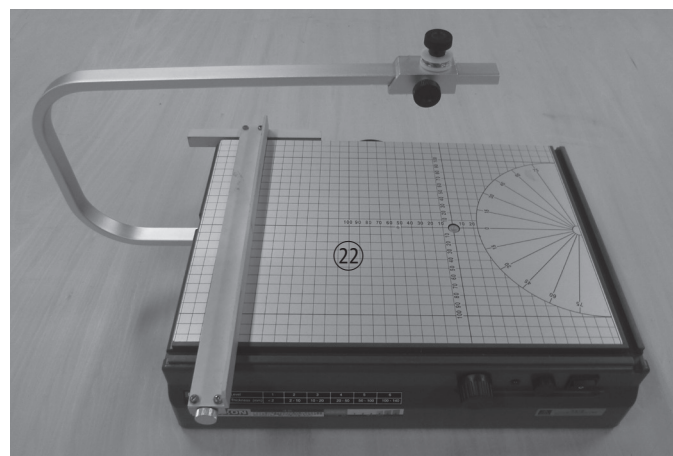
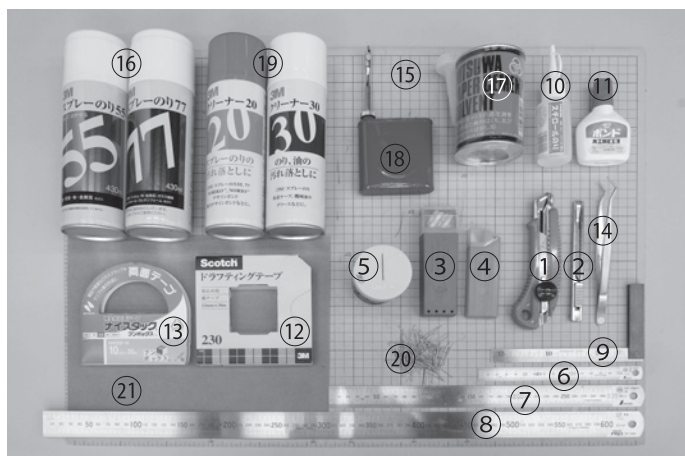
スケッチする道具



図面を描く道具



模型などを制作する道具



16. 学習支援

オープンゼミ

オープンゼミとは、事前に告知した時間と場所に教員が待機し、学生の皆さんからの質問や相談に対応するものです。主に専門演習テキスト科目に関する質問や相談を受け付けますが、それ以外にもスクーリング授業に関する質問や、その他日常の学習の進め方、卒業後の進路相談など、可能な限り、あらゆる相談事に対応したいと考えています。

京都／東京で毎月1～2回のペースで開催を予定しています。日程・開催場所については、『雲母』および airU キャンパス＞建築デザインコースサイト内でお知らせしますので、ご確認ください。参加について事前申込は不要です。テキスト科目の履修がなかなか進まなくて苦労している方は是非「オープンゼミ」を活用してください。

履修相談

履修相談とは、スクーリング授業中に授業担当外の教員が教室内で、授業内容以外の履修相談に応じます。概ね京都／東京で毎月1～2回のペースで行っています。わざわざ質問する程でもないけれども疑問に思っているようなことなど、様々なご質問をお受けしますので気軽にご相談ください。

特別講義

活躍中の建築家などによる特別講義を年4回開催し、建築にまつわるデザインや思想についての理解を深める場を設けています。『雲母』およびコースサイトにてお知らせするとともに公開の許可をいただいた過去の特別講義をインターネット上の動画で閲覧することができます。また、芸術文化情報センターでは過去の特別講義のDVDを閲覧できます。

テキスト科目課題説明会

1～3年次のテキスト科目（TW科目）について説明会を開催し、課題のポイント説明や質問にお答えする場を設けています。開催日程は『雲母』、airU マイページ「お知らせ」、コースサイトにてお知らせいたします。

コースサイトからの情報発信

airU キャンパスにリンクのあるコースサイトでは、参考作品、『建築学習 memo』、教員プロフィールの閲覧とともにコースが運営する facebook にて学びの幅を広げる建築関連のイベントやコンペ等の情報を発信しています。

参考作品や『建築学習 memo』の閲覧には airU 利用登録通知のユーザー ID とパスワードが必要です。
建築デザインコースサイト <https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/>

